

# 教育に関する事務の点検・評価報告書

(平成30年度実績)

令和元年12月  
富田林市教育委員会

～ はじめに ～

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、『全ての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表しなければならない』こととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が実施した平成30年度事業の内、主な事業を対象に点検・評価を行った結果をまとめたものです。

本市教育委員会では、今回の点検・評価の結果について、市民の皆様に公表することにより、さまざまなご意見をいただき、次年度以降の施策や事業に反映させ、今後の事務改善に活かすよう努めてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

富田林市教育委員会

## 《参 考》

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 《 目 次 》

1. 教育委員会の活動概況	1～5
2. 教育に関する事務の点検・評価	
(1) 点検・評価の手法	6
(2) 教育に関する事務の点検・評価シート	7～43
所管課：教育総務課	7～9
所管課：教育指導室	10～19
所管課：学校給食課	20～22
所管課：生涯学習課	23～28
所管課：文化財課	29～36
所管課：公民館	37～38
所管課：図書館	39～43
3. 学識経験者等の意見	44～47
4. 資料編	48～64

## 【1. 教育委員会の活動概況】

### (1) 教育委員会の構成 (平成31年3月31日現在)

職名	氏名	任期
教育長	芝本 哲也	平成30年12月7日～平成30年12月6日
教育長職務代理者	仲野 務	平成28年10月1日～令和元年9月30日
委員	山元 直美	平成28年10月1日～令和2年9月30日
委員	勝山 健一	平成31年10月1日～令和4年9月30日
委員	南 栄子	平成30年10月1日～令和3年9月30日

### (2) 教育委員会会議

区分	日程	付議案件等
4月定例会	平成30年4月25日	平成31年度使用 富田林市立中学校教科用図書 の採択について(諮問)(他5件)
5月定例会	平成30年5月31日	富田林市富田林伝統的建造物群保存地区保存計 画の一部改正について(他7件)
6月定例会	平成30年6月28日	学校園施設におけるブロック塀調査結果報告につ いて(他12件)
7月定例会	平成30年7月26日	平成31年度使用 教科用図書の採択について (他3件)
8月定例会	平成30年8月30日	平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の公表 について(他2件)
9月定例会	平成30年9月20日	学校給食における食物アレルギー対応の基本方針 について(他2件)
10月定例会	平成30年10月24日	平成30年度市表彰(教育委員会関係)について (他2件)
11月定例会	平成30年11月29日	すばるホールの指定管理者の指定について (他6件)
12月定例会	平成30年12月26日	中学生チャレンジテスト(3年生)の結果公表につ いて(他5件)
1月定例会	平成31年1月24日	教育に関する事務の点検・評価報告書(案)につ いて(他6件)
2月定例会	平成31年2月27日	富田林市教育委員会自動車の管理及び運行に関す る規程の一部を改正する規程について(他4件)
3月定例会	平成31年3月28日	「富田林市部活動の在り方に関する方針」につ いて(他2件)

### (3) その他の主な会議・研修・参加行事等

開催月	行事・会議名
平成 30 年 4 月	平成 30 年度富田林市教育方針説明会
	富田林市体育協会総会
	第 44 回富田林市長杯争奪少年軟式野球大会開会式
	市立幼稚園入園式・市立小学校入学式・市立中学校入学式
	大阪府都市教育協議会総会・定例会
	富田林市野外活動協会総会
	南河内地区市町村教育長連絡協議会
	富田林市レクリエーション協会総会
	富田林市こども会育成連絡協議会総会
	富田林市少年スポーツ連盟総会
	近畿都市教育長協議会定期総会
平成 30 年 5 月	富田林市青少年指導員 委嘱式
	富田林市教育研究会・市人権教育研究会総会
	富田林市青少年連絡協議会総会
	富田林市文化振興基金審査委員会
	第 66 回富田林市民体育大会開会式
	全国都市教育長協議会定期総会
	富田林市 PTA 連絡協議会理事総会
	富田林・ベスレヘム姉妹都市協会総会
	富田林寺内町をまもり・そだてる会総会
	富田林市中学校給食会理事会
	大阪府都市教育委員会連絡協議会総会
	富田林市文化振興基金審査委員会
平成 30 年 6 月	市立各小学校運動会
	富田林中高一貫校記念館落成式
	学校園安全確保の日
	第 8 回石上露子生誕祭
	富田林中高一貫校記念館完成記念講演会
	2018 富田林ドリームフェスティバル記者発表会
	第 38 回生徒指導研究集会

平成 30 年 7 月	大阪府都市教育長協議会定例会
	富田林市小学校給食会理事会
	富田林市奨学金審査委員会
	南河内地区市町村教育長連絡協議会
	富田林市就学指導推進委員会
	富田林市立公民館運営審議会
	富田林市立図書館協議会
	富田林市放課後子ども教室運営委員会
	富田林市立学校給食センター運営委員会
	富田林市いじめ問題対策委員会
	2018 富田林ドリームフェスティバル
	第 36 回東公民館「納涼の夕べ」
	ソニー幼児教育支援プログラム「最優秀園実践発表会」
	富田林市社会教育委員会会議
富田林市教育講演会	
平成 30 年 8 月	第 24 回とんだばやし人権フェスタ
	きらめき創造館運営協議会
	第 34 回平和を考える戦争展
	リーダーシップ研修
	じないまち四季物語 2018・夏「第 15 回 富田林寺内町燈路」
	大阪府都市教育長協議会 夏季研修
平成 30 年 9 月	第 39 回富田林市長杯争奪少年サッカー大会開会式
	第 29 回富田林市民スポーツ・レクリエーション祭総合開会式
	市立各中学校体育大会
	南河内ブロック青少年指導員連絡協議会
平成 30 年 10 月	富田林市戦没者追悼式
	大阪府都市教育長協議会定例会
	市立各幼稚園運動会
	体育の日記念事業
	富田林青年会議所 50 周年記念公演
	じないまち四季物語 2018・秋「第 12 回 後の雛まつり」

平成 30 年 10 月	わくわくフェスタ
	トータス交流会
	トライアングル交流会
	近畿都市教育長協議会研究協議会
	大阪人権教育研究南河内大会 全体会
	富田林市茶華道連盟 茶華道大会
	第 47 回富田林・ベスレヘム姉妹都市協会英語弁論大会
	第 38 回富田林市長杯少年剣道大会
	大阪府市町村教育委員研修会
平成 30 年 11 月	富田林市表彰式
	公民館まつり
	連合運動会
	大阪府都市教育長協議会秋季研修会
	連合音楽会
	南河内地区市町村教育委員連絡協議会研修
	富田林市防災訓練
	富田林市立久野喜台小学校 50 周年記念式典
	市町村教育委員会研究協議会
	子ども読書活動推進会議
	重要な建造物群保存地区拡大記念式典
	平成 30 年度「こども作品展」表彰式
平成 30 年 12 月	第 35 回部落解放富田林教育・人権研究集会
	2018 とんだばやし人権フェア
	第 68 回富田林市民マラソン大会
	富田林練達会創立 41 周年少年剣道大会
平成 31 年 1 月	大阪府都市教育長協議会定例会
	じないまち四季物語 2019・冬「第 11 回 新春・初鍋めぐり」
	第 3 回帯とんコンテスト表彰式
	平成 31 年富田林市成人式「はたちのつどい」
	富田林市教育委員会委員研修（市立金剛中学校 英語授業視察）
	南河内地区市町村教育長連絡協議会
	富田林市 PTA 連絡協議会大会
	大阪府都市教育委員会研修会

平成 30 年 2 月	第 62 回南大阪駅伝競走大会
	富田林市少年スポーツ連盟懇談会
	「とっぴーと読もう！」読書感想文コンクール表彰式
	富田林市立図書館協議会
	南河内地区市町村教育長連絡協議会
	大阪府市町村教育委員会教育長会議
	富田林市就学相談推進委員会
	新採オリエンテーション
平成 31 年 3 月	富田林市放課後子ども教室運営委員会
	じないまち四季物語 2019・春「第 13 回 じないまち雛めぐり」
	市立幼稚園卒園式・市立小学校卒業式・市立中学校卒業式
	富田林市文化振興基金審査委員会
	富田林市社会教育委員会会議
	公民館運営審議会
	富田林市文化財保護審議会
	第 22 回富田林市美術協会展

## 【2. 教育に関する事務の点検・評価】

### (1) 点検・評価の手法

本市では、平成 29 年度からの 10 年間を期間とした、めざすべきまちの将来像 《ひとがきらめく！ 自然がきらめく！ 歴史がきらめく！ みんなでつくる 笑顔あふれるまち 富田林》 等を掲げた「総合ビジョン」、並びに将来像の実現に向けて必要な施策を示す「総合基本計画」を併せて策定しました。

また、「総合基本計画」を着実に推進し、めざすべきまちの将来像の実現につなげるため、計画に基づき、事業実施、評価・検証、改善を図っていくものとしております。

本市教育委員会では、これまでも、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、第 4 次総合基本計画に基づき、主な事業に対し「教育に関する事務の点検・評価報告書」を作成しておりましたが、今般、新たな総合基本計画が策定され、この計画に基づき作成するため、これまでの「点検・評価報告書」を改めることとしました。

今般、「教育に関する事務の点検・評価報告書」をまとめるにあたり、教育委員会各所管課で実施している事務事業のうち、主要な事務事業を抜粋し、「教育に関する事務の点検・評価シート」にて検証を行うこととします。

また、「教育に関する事務の点検・評価シート」では、総合基本計画での施策体系を示し、各事務事業についての目的、概要、該当年度の主な実施内容を記載したうえで、「点検・評価」を行い、「点検・評価」から抽出された課題等についても考察し、その対応策等、今後の方向性を示していくこととします。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育総務課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	小学校大規模改造事業・中学校大規模改造事業
事業目的	教育内容・方法の多様化や法令等に適合させるための改造工事、内部環境の改善を図る改造工事等を実施することで、児童・生徒の教育環境の充実を図る。
事業概要	年次計画に基づき、老朽化したトイレ設備等について、設計委託、並びに工事を実施する。
平成 30 年度の主な実施内容	<p>[小学校]</p> <p>寺池台小学校のトイレ 2 箇所を洋式、及び乾式化を実施。 向陽台小学校のトイレ 2 箇所を洋式、及び乾式化を実施。 次年度工事計画の東条・高辺台小学校トイレ改修設計業務を実施。</p> <p>[中学校]</p> <p>喜志中学校のトイレ 2 箇所を洋式、及び乾式化を実施。 次年度工事計画の明治池中学校トイレ改修設計業務を実施。</p>
点検・評価	<p>[継続事業：平成 24 年度から、小学校 2 校・中学校 1 校のトイレ改修工事]</p> <p>平成 30 年度も計画通り、小学校 2 校・中学校 1 校のトイレ改修工事を完了し、良好な教育環境の整備に努めることができた。また、国の学校施設環境改善交付金を積極的に活用し、一般財源の削減に努めることができた。</p> <p>トイレ洋式化率：平成 30 年度末現在 小学校 [32.45%] 中学校 [31.65%] ※校舎内・屋内運動場等すべてのトイレを含む</p>
課題	トイレの洋式化率は、依然として低いため、国の学校施設環境改善交付金を積極的に活用し財源の確保に努めながら、事業を継続していくとともに、改修箇所数の増加を検討していく必要がある。また、避難所となる屋内運動場のトイレの洋式化が未整備な状況であるため、学校とも整備箇所を協議しながら改修を進めていく必要がある。
今後の方向性	現在のトイレ改修計画は、令和元年度に完了予定となっているが、学校施設全体の洋式化率は依然として低いため、改修箇所数を増やすことも検討しながら、事業を継続していく。また、次期計画においては、避難所となる屋内運動場も含めたトイレの洋式化について学校現場とも調整を図っていく。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育総務課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	中学校空調設備整備事業
事業目的	近年の猛暑を受け、中学校普通教室に空調設備を設置することで、より良い教育環境の充実を図る。
事業概要	年次計画により、全中学校の普通教室、少人数教室等の空調設備を整備することで、生徒が健康で快適に学習できる教育環境の向上を図る。
平成 30 年度の主な実施内容	[平成 27 年度～平成 30 年度までの 4 年計画] 中学校全 8 校について、中学 1 年生の普通教室、及び少人数教室等へ空調設備を設置。 [平成 30 年度における空調設備設置教室数] 普通教室数：24 教室 少人数教室：11 教室 支援教室：3 教室 校長室等管理諸室：23 室（更新）
点検・評価	計画通りに中学校 1 年生の普通教室等へ空調設備を設置し、今年度で全学年の普通教室等に空調設備が設置され、一年を通じて生徒が安全で快適な学校生活を送り、集中して学習できる教育環境を整えることができた。また、同時に老朽化し空調効率の低下が著しい校長室等の管理諸室の空調機器も更新することができた。 更に、電気料金の抑制及び CO <sub>2</sub> 削減も視野に入れ、運転・停止・温度設定を集中的に監視・制御する空調設備の集中管理機器を職員室に設置した。
課題	全中学校の普通教室に空調設備が整備できたが、平成 30 年夏の猛暑を受け、国では臨時特例的な措置として新たな交付金制度を創設されたことから、この新たな補助制度を活用し、熱中症対策として、小学校普通教室へ空調設備の整備を進めていく必要がある。
今後の方向性	中学校の普通教室への空調設備の整備は今年度で完了したが、平成 30 年夏の猛暑を受け、子どもたちの健康を守るため、早急に小学校普通教室への空調設備の整備を進めていく。また、多額の財源が必要となることから、国の新たな臨時特例的な補助制度を活用していく。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育総務課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (1) 安全・安心な暮らしの確保
個別施策 21	防災対策の推進

事務事業	小学校防災機能強化事業・中学校防災機能強化事業
事業目的	学校施設について、非常災害発生時における児童・生徒等の安全な教育環境の確保および応急避難場所としての必要な機能が発揮できるよう、防災機能の強化を図る。
事業概要	屋内運動場の非構造部材耐震化対策のため、安全な教育環境の確保を図る。
平成 30 年度の主な実施内容	[小・中学校屋内運動場非構造部材耐震化計画：平成 27 年度～令和 2 年度まで] 新堂小学校・喜志小学校・伏山台小学校屋内運動場、及び第二中学校・藤陽中学校屋内運動場の窓ガラス飛散防止対策、天井照明器具の LED 化と落下防止対策、天井つり下げ式バスケットゴール（中学校のみ）の落下防止対策等、非構造部材耐震化工事を実施。 また、次年度工事計画の小学校 4 校、中学校 2 校の屋内運動場非構造部材耐震化設計業務を実施。
点検・評価	本年度も計画どおり、小学校 3 校、中学校 2 校の屋内運動場の照明器具やバスケットゴール等の落下防止対策等の非構造部材耐震化工事を行うとともに、次年度工事計画の設計業務を実施することができた。また、学校施設環境改善交付金を積極的に活用し、一般財源の削減に努めることができた。 屋内運動場非構造部材耐震化率：平成 30 年度末現在 小学校 [52.94%] 中学校 [50.0%]
課題	本事業は、年次計画で行っている事業であり、児童・生徒はもとより地域の避難場所となる屋内運動場の非構造部材耐震化対策は安全性を確保するうえで重要な事業であることから、計画に基づき、次年度以降も確実に事業実施に努める必要がある。また、非構造部材の耐震化対策と併せて、建設以来、大規模改修を行っていない内外装についても老朽化対策を行っていく必要がある。
今後の方向性	国の学校施設環境改善交付金を積極的に活用することで、一般財源の削減に努め、年次計画通り、次年度以降も確実に事業を進めていく。 また、屋内運動場棟建設以来、大規模改修を行っていない内外装について、非構造部材耐震化工事に合わせ、老朽化対策のため改修を検討していく。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	きめ細かな指導推進事業																																																
事業目的	少人数編成による学級や授業の実施により、「個に応じたきめ細かな指導」を実現し、子どもたちの学力向上・規範意識の確立・豊かな心を育む。																																																
事業概要	小学校 6 年生で少人数編成（35 人以下）による「少人数学級指導」を実施し、中学校への円滑な接続を図る。また、中学校 3 年生において、少人数編成（35 人以下）あるいは、学校の実情に応じた「少人数学級指導」を実施する。																																																
平成 30 年度の主な実施内容	市費による加配教員を小学校に 2 名、中学校に 8 名配置し、小学校 6 年生、及び中学校 3 年生において 35 人以下の学級編成を実施した。																																																
点検・評価	<p>本事業では、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境づくりや、学力向上・規範意識の確立・豊かな心の育成などをねらいとして、少人数編成や少人数学級指導を実施している。特に、小学校 6 年生では全国学力・学習状況調査の結果を受けて、その後の授業改善を進めるとともに、きめ細かな指導を進めることで中学校への円滑な接続を図っている。また、中学校でも学校の実情に応じて少人数指導学級指導を実施しており、平成 30 年度の中学校全国学力・学習状況調査結果と平成 27 年度の小学校の調査結果を用いて同一集団の各科目の対全国比を比較すると、いずれの科目でも改善が見られる。このような結果から、本市の子どもたちが小学校 6 年生から中学校にかけて安心して学び、力を伸ばしている様子を見とることができ、本事業の成果がみられる。</p> <p><b>【資料編 P52・53：「全国学力・学習状況調査」参照】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>国語 A</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均正答率</th> <th>富田林市</th> <th>大阪府</th> <th>全国公立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●H27</td> <td>67.1</td> <td>67.6</td> <td>70.0</td> </tr> <tr> <td>◆H30</td> <td>76</td> <td>75</td> <td>76.1</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>国語 B</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均正答率</th> <th>富田林市</th> <th>大阪府</th> <th>全国公立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●H27</td> <td>62.2</td> <td>62.7</td> <td>65.4</td> </tr> <tr> <td>◆H30</td> <td>62</td> <td>59</td> <td>61.2</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>算数 A・数学 A</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均正答率</th> <th>富田林市</th> <th>大阪府</th> <th>全国公立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●H27</td> <td>75.4</td> <td>74.8</td> <td>75.2</td> </tr> <tr> <td>◆H30</td> <td>68</td> <td>65</td> <td>66.1</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>算数 B・数学 B</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平均正答率</th> <th>富田林市</th> <th>大阪府</th> <th>全国公立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●H27</td> <td>44.2</td> <td>44.1</td> <td>45.0</td> </tr> <tr> <td>◆H30</td> <td>47</td> <td>46</td> <td>46.9</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	平均正答率	富田林市	大阪府	全国公立	●H27	67.1	67.6	70.0	◆H30	76	75	76.1	平均正答率	富田林市	大阪府	全国公立	●H27	62.2	62.7	65.4	◆H30	62	59	61.2	平均正答率	富田林市	大阪府	全国公立	●H27	75.4	74.8	75.2	◆H30	68	65	66.1	平均正答率	富田林市	大阪府	全国公立	●H27	44.2	44.1	45.0	◆H30	47	46	46.9
平均正答率	富田林市	大阪府	全国公立																																														
●H27	67.1	67.6	70.0																																														
◆H30	76	75	76.1																																														
平均正答率	富田林市	大阪府	全国公立																																														
●H27	62.2	62.7	65.4																																														
◆H30	62	59	61.2																																														
平均正答率	富田林市	大阪府	全国公立																																														
●H27	75.4	74.8	75.2																																														
◆H30	68	65	66.1																																														
平均正答率	富田林市	大阪府	全国公立																																														
●H27	44.2	44.1	45.0																																														
◆H30	47	46	46.9																																														
課題	小学校では、6 年生以前に課題が生じる場合がある。人間関係が固定化する前に早期解決を図り、より良い集団の育成につなげることが重要である。																																																
今後の方向性	それぞれの学校により課題が異なることから、早期に課題を改善するためのより良い方策や制度の在り方についても研究を進めていく必要がある。																																																

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	生徒指導事業
事業目的	児童生徒及び保護者等に対する支援や学校への訪問相談等の支援を行うことで、生徒指導上の課題の未然防止を図る。
事業概要	児童生徒及び保護者等に対する教育相談の実施や市内小中学校の不登校生を対象とした適応指導教室事業の実施、大学生等のボランティアを派遣しての学習支援等を実施する。
平成 30 年度の主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒及び保護者等に対する教育相談事業の実施（相談件数 55 件）</li> <li>・生徒指導上の課題に対応するため、教育相談員、適応指導教室講師等を配置（教育相談員 1 名、適応指導教室講師 1 名）</li> <li>・スクールソーシャルワーカー（SSW）を重点 6 小学校に 3 名配置</li> <li>・各小中学校支援のための学習サポーター、スクールソーシャルワーカー派遣を行い、児童生徒支援、学校支援を実施</li> <li>・適応指導教室の運営（市内不登校児童生徒を対象とした適応指導教室において、学習支援・体験活動・教育相談等を実施）</li> </ul>
点検・評価	本事業の実施による教育相談や学校支援、適応指導教室の専任指導員の配置やスクールソーシャルワーカーの配置を行うことにより、児童生徒や保護者への支援の充実を図ることができている。生徒指導上の問題行動も減少しており、児童生徒が安心して登校するための取組みが推進されている。また、不登校等の課題を抱える児童生徒への支援も進められており、問題行動等も含めた課題解決に向けた観点からも本事業の重要性を感じる。
課題	適応指導教室の運営やスクールソーシャルワーカーの配置、学習サポーターの派遣等については、学校支援や児童生徒への支援の充実につながっているが、貧困等の子どもを取り巻く環境に起因する生徒指導上の課題解決に向けた取組みが必要である。とりわけ、不登校児童生徒への支援のさらなる充実を進めることが重要である。
今後の方向性	貧困等の子どもを取り巻く環境に起因する課題の解決に向けて、スクールソーシャルワーカーを活用した取組みをより一層充実させていきたい。さらに、不登校への取組みについては、別室での登校や適応指導教室への通室に至らず在宅の状況にある児童生徒への支援の在り方について、研究を進めていきたい。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	総合的な学習の時間推進事業
事業目的	各学校における総合的な学習の時間の取組みを充実させることで、各学校の特色づくり学校教育の活性化を図るとともに、本市の教育の特色づくりを進める。
事業概要	多様な人材の活用や新しい課題への取組みを進めるため、外部講師の招聘や学習材など購入に係る支援を行う。
平成 30 年度の主な実施内容	<p>[総合的な学習の時間 実施内容]</p> <p>地域人材や外部講師を招聘し、以下に例示するような取組みを各校にて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話について</li> <li>・読み聞かせ・紙芝居</li> <li>・バリアフリーダンスについて</li> <li>・琴の演奏</li> <li>・外国の遊びについて</li> <li>・陶芸体験授業</li> <li>・書道に挑戦</li> <li>・ホテル復活</li> <li>・福祉について</li> <li>・日本の伝統文化について</li> </ul>
点検・評価	<p>本事業は、児童生徒が地域人材や外部講師から直接話を聞いたり、実際に体験したりすることで、学校での学びが実生活や地域・社会とつながっていることを実感し、学習意欲の向上につなげることをねらいとしている。また、探求的な活動を通して、身の周りの課題を発見し、様々な教科での学びを組み合わせで最適な解決策を考えたり、粘り強く解決しようとする態度を育成することを目的としている。平成 30 年度全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の「(小学校は) 5 年生までに、(中学校は) 1・2 年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか」では、肯定的な回答割合が小中学校ともに 7 割を超えた。特に、中学校では、全国平均も上回っており、取組みの成果が見られる。</p>
課題	今後も、各校における取組みを円滑に進めるために、外部講師の招聘や消耗品等の購入に必要な予算の確保が必要である。
今後の方向性	各校の特色にあわせて、専門性を有する方や地域の方を講師として招聘したり、学習に必要な材料や消耗品を購入したりすることで、子どもたちの学びを充実したものとしていきたい。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	学校教育運営事業																						
事業目的	奨学金審査会や学校協議会など各種委員会を開催したり、学校教育の運営に関する業務を実施したりすることで、円滑な学校運営を図る。																						
事業概要	本市奨学金の給付審査、学校教育に資する各種委員会の活動補助、就学・転学や就学援助に係るシステム保守など学校運営に係る取組みを実施する。																						
平成 30 年度の主な実施内容	<p>[奨学金審査会] 実施回数 1 回 参考：富田林市奨学金支給者及び申請者数 (単位：人)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給者</td> <td>118</td> <td>120</td> <td>123</td> <td>121</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>申請者数</td> <td>261</td> <td>312</td> <td>263</td> <td>248</td> <td>219</td> </tr> </tbody> </table> <p>[学校協議会開催状況] 各校において年間 3 回 (学期に 1 回) 程度開催した。</p>						H26	H27	H28	H29	H30	支給者	118	120	123	121	120	申請者数	261	312	263	248	219
	H26	H27	H28	H29	H30																		
支給者	118	120	123	121	120																		
申請者数	261	312	263	248	219																		
点検・評価	各種委員会において専門性を有する学識経験者や市民からの示唆や意見を頂き、本市教育行政や学校教育の推進を図ることができた。また、学校協議会においては、学校長が地域の方からの助言を頂き、より地域に開かれた学校づくりが進んだ。就学、転学にかかるシステムについては、市内のシステムと連動していることから引き続き更新等が必要であり、就学援助については、新システム導入に伴う事務処理の効率化が期待できる。																						
課題	各種委員会や学校協議会については、学校園が富田林の将来を担う子どもたち一人ひとりに「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育むために、学識経験者、保護者、地域の方々等のご意見を頂くことは欠かすことはできないことであり、今後も継続していくことが必要である。また、就学・転学や就学援助に係るシステムについては、保守点検はもとより、他課のシステムとの連携や制度の変更に伴うシステムの構築も適切に実施していく必要がある。																						
今後の方向性	奨学金の給付については教育の機会均等を図る上で重要である。また、「社会に開かれた教育課程」によりこれからの時代に求められる資質・能力を子どもたちに育てていくために、各種委員会にて示された意見を学校運営の改善に活かしていきたい。																						

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	教育コミュニティ推進事業・地域による学校教育支援事業
事業目的	学校・地域・家庭の総合的な教育力の再構築を図る地域教育協議会を運営する。各中学校区において、地域の方を中心に学校支援ボランティアを組織し、学校教育に関わる支援活動を行うことで、児童生徒の生活習慣の確立等を図る。
事業概要	学校・地域・家庭の総合的な教育力の再構築を図る地域教育協議会の運営や、地域の方を中心に組織された学校支援ボランティアによる支援活動を財政面から支援する。
平成 30 年度の主な実施内容	<p>[各中学校区の地域教育協議会で校区の特色に応じた取組みを実施]</p> <p>フェスタやクリーン作戦（清掃活動）、夜間校区巡視、児童生徒が主体的に関わる活動、あるいは防災に関わるイベントや研修等の新しい取組みに加え、学校支援コーディネーターによる校区の特色に応じた学校支援活動（部活動指導、放課後の学習指導、読み聞かせ、登校支援、あいさつ運動、行事の企画運営等）を財政面から支援した。</p> <p>[生涯学習課主催によるすこやかネット連絡会議]</p> <p>7月17日（火）、3月18日（月）の年間2回開催し、各中学校区での取組みや課題を全体で共有した。</p>
点検・評価	学校・地域・家庭の総合的な教育力の再構築を図る地域教育協議会や学校支援ボランティアについては、各校区で取組みが定着してきており、市全体の教育力の向上に欠かすことのできないものとなっている。
課題	学校・地域・家庭の総合的な教育力の再構築を図る地域教育協議会の運営や地域人材の確保、活用のためには、財政的な支援を継続していくことが必要である。
今後の方向性	<p>[すこやかネットの運営支援]</p> <p>生涯学習課が主催する「すこやかネット連絡会議」において、運営に関するノウハウの共有が進められ、今後も各中学校区すこやかネットの取組みの充実が図られる中であって、その運営にかかる諸費用について財政的な支援が必要不可欠である。引き続き地域の教育力の向上や学校における地域人材活用のために生涯学習課と連携をして財政的支援を行いたい。</p>

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	教育研究事業
事業目的	富田林市教育委員会主催の研修会や各学校園の研修を充実させることで、教職員の資質向上を図り、教育力の向上に努める。
事業概要	教員研修の実施、及び校園長を中心に各校園の状況に応じた教育力向上のための研究への補助を行う等、市内学校園の教育研究に関する事業を実施する。
平成 30 年度の主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立学校園教職員全員参加の教育講演会をすばるホールで実施。                      テーマ：「より良い未来を切り拓く資質・能力を育成するために」                      内 容：実践報告 富田林市立高辺台小学校                      「健やかな心と体を育む」～3年間の歩み～                      講 演 元グーグル米国本社副社長兼日本法人社長・                      前名誉会長 村上 憲郎 氏                      「グローバル時代を生き抜くための資質・能力の育成」                      参加状況：各校園より 567 名が参加（参加率 85%）</li> <li>研究補助による各校園の実情に応じた研修会を実施。                      （幼稚園：10 園、小学校：16 校、中学校：8 校）</li> </ul>
点検・評価	学校園教職員全員参加の教育講演会をすばるホールで実施した。また、新学習指導要領への対応や、新しい教育課題への解決に向け、課題別研修を 27 本実施し、延べ 1,694 名の教職員が参加した。参加者の評価では、教育講演会が 5 段階評価で平均 3.8、課題別研修が平均 4.4 であった。今後も、教育課題に応じた研修を実施し、教職員の資質向上を図っていきたい。
課題	教職員の世代交代が進む中、教育に関わる技能の伝承や経験の浅い教職員の資質向上が不可欠であるため、より実践的な研修が求められる。とくに外国語教育の必要性を実感できる研修は重要である。加えて、本格実施される新学習指導要領では、これからの時代に求められる資質・能力を育むため、不断の授業改善に取組み、「主体的で対話的で深い学び」を実現していく必要がある。
今後の方向性	新しく導入される小学校外国語やプログラミング教育への対応や、喫緊の課題解決に向けて各種研修会を実施し、教職員の指導力向上を図っていく。また、各種研究団体や、各校園における研修に係る補助及び支援を継続していくことで、本市全体の教育力向上に努めていきたい。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	幼稚園講師配置事業
事業目的	幼稚園教育においては、個々の発達状況に応じて教育課題に即したきめ細かい指導が必要であり、保護者への子育てについての支援活動も幼稚園にとっては急務である。配置基準に基づく教員（講師）の配置により、幼児教育の充実と子育て支援活動の推進を図る。
事業概要	個々の発達課題に応じた指導や、生活適応指導及び子育て支援のための各幼稚園への加配を行う。 産育休に対応するための教員配置に対する臨時講師賃金を支払う。
平成 30 年度の主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置基準に基づき教員（講師）を配置した。</li> <li>・各幼稚園において、幼児一人ひとりの発達状況に応じたきめ細かい指導を行うことができ、公立幼稚園の幼児教育の質を担保できた。</li> <li>・各幼稚園の実情に合わせた子育て支援活動を推進し、3 歳児の特性理解と、新たな教育課程の研究がすすんだ。</li> <li>・10 園に 13 名の教員（講師及び養護助教諭）を配置した。</li> </ul>
点検・評価	各幼稚園において、個々の園児の発達状況に応じたきめ細かい指導を行ったとともに、未就園児の広場などの取組回数を増やしたことで、充実した子育て支援活動が実施できている。保護者や地域の方々からも、各幼稚園におけるこれらの教育活動について、高い評価をいただいている。
課題	富田林市の幼児教育の質を担保するためには、優秀な教員を継続的に確保する必要がある。また、産休・病休等急な欠員に対応できるよう、講師登録数を増やす必要がある。
今後の方向性	市立幼稚園での 3 歳児保育及び、預かり時間延長の実施に向けて、3 歳児の特性や新たな教育課程、預かり時間延長時の保育内容についての研究を進めていく必要がある。そのため、現在実施している未就園児広場や課業後保育を担当する講師を確保することで、研究の推進を図りたい。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	園外学習扶助事業
事業目的	舞台芸術を鑑賞することで園児の情操を養う
事業概要	園外学習に対して扶助を行う
平成 30 年度の主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立幼稚園 5 歳児全員を対象に、劇団カップ座の舞台公演を団体鑑賞する。</li> <li>・観劇内容には、等身大ぬいぐるみとの交流や風船遊び等の工夫が組み込まれており、子どもたちが最後まで楽しめる内容である。</li> <li>・また、広い施設を利用して、舞台公演前後に外あそびも行うことができる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">「劇団カップ座の舞台公演」 50 分作品を 2 回公演 参加状況：園児 156 名</p>
点検・評価	舞台芸術を鑑賞することで、子どもたちの情操の育成に努めることができた。団体鑑賞や外あそびを通して、他園の園児や教員との交流を行うことができ、他者との関係を広げることができた。
課題	園児数の減少に伴い、支払う観劇料も減少するため、団体鑑賞の開催が困難になる。
今後の方向性	<p>子どもたちの情操教育のため、現状を維持する形で今後も実施していきたい。今後、園児数が減少し、市のマイクロバスで対応できるようになれば、バスの借上料については削減していきたい。</p> <p>また、園児数の減少により、公演回数を 2 回から 1 回にすることが可能になれば、園児や教職員の負担を軽減することができる。</p>

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	小学校支援学級等就学事業・中学校支援学級等就学事業
事業目的	小中学校支援学級に在籍する障がいのある子どもたちが、安全でかつ生き生きと活動できるよう介助員を配置する。 保護者の経済的負担軽減を目的とした補助費・扶助費を支給する。
事業概要	小中学校に介助員等を配置する。 肢体不自由の障がいがある子どもたちの登下校について送迎を行うとともに機能回復訓練を行う。 医療的ケアを必要とする障がいがある小中学生が宿泊行事等へ参加する際、看護師の派遣を行う。 支援学級在籍児童生徒の保護者に対して、補助費・扶助費を支給する。
平成 30 年度の主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に介助員 48 人、介添人 1 人、特別介助員 2 人を配置した。</li> <li>・中学校に介助員 16 人、特別介助員 1 人を配置した。</li> <li>・小学校 30 回・中学校 13 回の肢体不自由児童生徒対象の機能回復訓練を行った。</li> <li>・宿泊行事等で小学校 4 件・中学校 14 件の看護師派遣を行った。</li> <li>・支援学級在籍児童生徒の就学に対して、補助費・扶助費を支給し、保護者の経済的負担を軽減した。</li> </ul>
点検・評価	介助員等の適切な配置により、小中学校支援学級に在籍する障がいがある子ども達が、安全でかつ生き生きと活動している。 保護者に対する経済的負担軽減を担っている。
課題	介助員や看護師資格をもつ特別介助員、機能回復訓練士の確保などに課題がある。
今後の方向性	本市立富田林小学校及び第一中学校を肢体不自由児教育のセンター的運用校に位置づけており、引き続き機能回復訓練士の派遣に努めたい。また、介助員等の配置に対する市民ニーズは年々高まっていることや、法により市が基礎的環境整備を行うことが義務付けられていることから、今後も介助員の適切な配置に努めるために、募集についても広報し、より良い人材の確保に努めたい。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：教育指導室

[総合基本計画における施策体系]

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	幼稚園肢体不自由児等就学事業
事業目的	支援を要する幼児の就園に関する教育相談および支援を要する園児に対する介助員を必要数配置する。 それにより、個々の幼児の発達に応じたきめ細かい指導を行う。
事業概要	幼稚園に介助員を配置する。 就園のための教育相談を実施する。
平成 30 年度の主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の就園に向けて臨床心理士による教育相談を 15 件実施し、保護者の不安の解消をはかるとともに、就園後の支援について教職員にアドバイスをすることで、幼児のスムーズな就園につながることができた。</li> <li>・市立幼稚園 10 園に計 18 名の介助員を配置したことで、園に在籍する支援を要する子どもたちの安全安心な幼稚園生活を担保し、合理的な配慮を提供した。</li> </ul>
点検・評価	<p>市が行うべき基礎的環境整備を行うことができた。介助員の欠員にも迅速に対応できたことから、本事業への影響は少なかった。</p> <p>本事業の効果として、障がいがあることを理由に市立幼稚園への就園を断念せざるを得ない状態が発生しなかったことは、法の意図をくむことができていると共に、市立幼稚園が果たすべき役割を全うできているものといえる。</p>
課題	介助員の資質向上に向けた研修の実施、及び優れた人材の確保が課題である。
今後の方向性	介助員等の配置に対する市民のニーズが年々高まっていることや、法により基礎的環境整備を行うことが市に義務づけられていること、障がいがある子どもを含めたすべての子どもたちに集団による幼児教育を提供することが市立幼稚園の責務であることなどから、今後も介助員の適切な採用と配置に努めるとともに、資質向上に向けた研修も引き続き実施したい。

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：学校給食課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	学校給食管理運営事業																																										
事業目的	①学校教育の一環として、正しい食習慣を身につけてもらうこと ②友達や先生と一緒に食べることにより、自分の体を大事にし他者を思いやる心を育て、食に対する関心を持てるように促すこと ③今後の人生の基礎となる心身の発達に寄与すること																																										
事業概要	①安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供し、食育を推進する。 (献立作成・物資購入・主任会等各種委員会の承認により給食を提供する。) ②調理業務については、富田林学校給食(株)等に業務委託をする。 ③PTA 試食会を通して、学校給食への理解を深めてもらう。 ④公会計による小学校給食費の賦課・徴収管理。 ⑤センターや各小学校の配膳室の施設整備と人的支援。 ⑥新センター稼働後にアレルギー除去食を提供する。																																										
平成 30 年度 の主な 実施内容	[理事会、各委員会の開催状況] <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校給食会 理事会</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>物資納入業者選定委員会</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>物資購入委員会</td> <td>12 回</td> </tr> <tr> <td>献立作成委員会</td> <td>11 回</td> </tr> <tr> <td>給食主任会</td> <td>6 回</td> </tr> <tr> <td>アレルギー対応食検討委員会</td> <td>6 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学校給食の実施状況]                  小学校数：16 校 対象児童数：5,145 人 実施日数：186 日</p> <p>【参考：年度別小学校給食実施状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校数</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>年間給食数</td> <td>1,108,516</td> <td>1,064,158</td> <td>1,035,386</td> <td>1,023,079</td> <td>1,002,598</td> </tr> <tr> <td>一日平均給食数</td> <td>5,991</td> <td>5,721</td> <td>5,596</td> <td>5,509</td> <td>5,479</td> </tr> </tbody> </table> <p>[給食費の賦課徴収]                  徴収管理業務について、「富田林市債権管理マニュアル」に基づき、督促や催告、支払督促等に取り組んだ。                  参考：平成 30 年度徴収率 94.48%</p>					名 称	開催回数	小学校給食会 理事会	1 回	物資納入業者選定委員会	1 回	物資購入委員会	12 回	献立作成委員会	11 回	給食主任会	6 回	アレルギー対応食検討委員会	6 回		H26	H27	H28	H29	H30	学校数	16	16	16	16	16	年間給食数	1,108,516	1,064,158	1,035,386	1,023,079	1,002,598	一日平均給食数	5,991	5,721	5,596	5,509	5,479
名 称	開催回数																																										
小学校給食会 理事会	1 回																																										
物資納入業者選定委員会	1 回																																										
物資購入委員会	12 回																																										
献立作成委員会	11 回																																										
給食主任会	6 回																																										
アレルギー対応食検討委員会	6 回																																										
	H26	H27	H28	H29	H30																																						
学校数	16	16	16	16	16																																						
年間給食数	1,108,516	1,064,158	1,035,386	1,023,079	1,002,598																																						
一日平均給食数	5,991	5,721	5,596	5,509	5,479																																						

点検・評価	<p>学校給食センターより市内全 16 小学校に安全・安心な給食を提供した。</p> <p>食物アレルギーを有する児童へのアレルギー対応食提供について、「小学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を策定した。</p> <p>就学援助者に対しては、給食を現物給付することにより、担当課から直接学校給食課へ給食費を振込むことになった。</p>
課題	<p>給食は、学校で食育を行う上で重要な教材であり、必要不可欠の事業であるが、財源が限られた中において、その実施にあたっては、最小の経費で最大の効果を出す必要がある。</p>
今後の方向性	<p>食物アレルギーを有する児童も他の児童と同じように給食を楽しんで食べることができるよう食物アレルギー対応食を提供する。</p>

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：学校給食課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 3	学校園における教育の充実

事務事業	中学校給食事業
事業目的	未来の担い手を育む教育の一環としての中学校給食運営
事業概要	<p>学校給食法等に基づき、安全・安心な給食を提供するとともに、その内容を食育に活かす</p> <p>①給食関連設備の管理      ②給食食数管理      ③給食物資の調達</p> <p>④調理業務委託      ⑤食育の推進</p>
平成 30 年度の主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全中学校において、自校式による給食の実施。 [実績] 中学校数：8 校 対象生徒人数：2,636 人 全体実施日数：175 日 全体調理食数：215,200 食</li> <li>・調理従事者に対する研修会の実施 テーマ：「衛生管理に関する基礎知識」「給食調理場の衛生の現状について」</li> <li>・新 1 年生全員に給食を 1 日無償提供する「給食の日」の実施</li> </ul>

<p>点検・評価</p>	<p>喫食率は年々上昇し、平成 30 年度は喫食率が全体で 50%を上回る数値となった。しかし、給食調理食数は生徒数の減少を受け、初めて減少に転じ、約 7,900 食減少した。喫食率及び給食調理食数は事業に要する費用とその効果の観点や、生徒・保護者の満足度の観点から、重視すべき指標である。</p> <p>残菜は全員給食と比較して非常に少ないが、今後食育等を通じてさらなる削減に努めたい。</p> <p>【参考：喫食率の推移（中学校全体）】</p> <table border="1" data-bbox="373 510 1407 613"> <thead> <tr> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41.8%</td> <td>43.5%</td> <td>47.4%</td> <td>49.0%</td> <td>50.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【資料編 P54：「中学校給食（学校別）喫食率の推移」参照】</p>	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	41.8%	43.5%	47.4%	49.0%	50.6%
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度							
41.8%	43.5%	47.4%	49.0%	50.6%							
<p>課題</p>	<p>選択制給食かつ自校方式の学校給食は、参考となる他団体も少ないことから、生徒・保護者の意見や、学校教育の観点、費用対効果など総合的な面から、目指すべき富田林市中学校給食についての検討が課題である。</p>										
<p>今後の方向性</p>	<p>全体的な喫食率は目標としてきた 50%となった。しかし学校別に見ると、喫食率が下がった学校もあり、喫食率が比較的低い学校における取り組みに注力したい。給食調理施設は、平成 19 年 1 月に中学校給食を開始してから 10 年以上が経過したため、今後機器の入替や修繕、設備の改良等を計画的に行なっていく方向である。</p> <p>業務委託では、調理委託を現在 3 年の長期継続契約で行なっているが、受託をうけたものは一定の設備投資が必要なことや、給食調理のための人的資源の安定した確保、入札時の競争可能性等を勘案し、契約手法の検討や見直しが必要である。</p> <p>仮に中学校給食が就学援助の対象となった場合には、現在の給食申込み方法の見直しや、食数の大幅な上昇が予想される中学校において備品等の調達が必要となる可能性がある。</p>										

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 4	未来の担い手の育成

事務事業	社会教育団体補助事業
事業目的	市内の社会教育団体活動の推進を図る。
事業概要	市内の社会教育団体の健全な発展を図るとともに、教育の振興と児童・青少年の福祉の増進に協力し、教育環境の向上に努める。 PTA 連絡協議会への委託的事業補助。
平成 30 年度の主な実施内容	[富田林市 PTA 連絡協議会] 市 PTA 連絡協議会加盟校園に対して補助金を交付するとともに、市 PTA 大会や市 PTA 総会など各種の事業実施に協力した。 富田林市 PTA 連絡協議会補助金：685 千円  [富田林市少年少女合唱団] 定期演奏会などを実施、事業に対する補助金を交付した。 富田林市少年少女合唱団補助金：126 千円
点検・評価	PTA 連絡協議会と少年少女合唱団は、共に本市の社会教育関係団体で、子どもの健全育成のために活動しており、補助金の交付は適正である。
課題	上部団体にあたる大阪府 PTA 協議会への分担会費が高額 (216,820 円) であること、また南河内 PTA 協議会の会議等が頻繁にあるなど、事務や経費負担について一定の見直しが必要と思われる。 少年少女合唱団は、団員の確保が課題であるため、広報活動においてチラシを小学校や幼稚園に配布するなど市も協力を行っている。
今後の方向性	PTA 連絡協議会と少年少女合唱団は、子どもの健全育成のため活動しており、今後も支援を継続、充実させる。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3) 学び続けるための環境づくり
個別施策 6	市民文化・スポーツの推進

事務事業	文化振興基金運用事業
事業目的	「文化振興基金」を活用し、さまざまな文化事業に助成金を交付することで、市民文化の振興を図る。
事業概要	市内で活動する文化団体が結成の節目(10周年等)に、文化の振興に著しく寄与する事業を行ったり、文化振興のために特に意義がある事業を行うときや、市又は市教育委員会と協働して行う事業に対して、事業費のうち対象経費の2分の1以内で20万円を上限として助成金を交付。
平成30年度の主な実施内容	3団体で合計464,240円を助成。 「石上露子生誕祭実行委員会－第8回石上露子生誕祭」 助成金：190,000円 「須賀地車保存会－須賀地車10周年誌と祭礼行事DVDライブラリー整備事業」 助成金：200,000円 「富田林寺内町をまもり・そだてる会－富田林寺内町重要伝統的建造物群保存地区拡大選定記念事業」 助成金：74,240円
点検・評価	市民が本市の文化向上に寄与する事業を自主的に行うもので、文化の底上げという面で一定評価できる。 基金を取り崩すといっても基金本体(1億円)には手をつけず、剰余金(現時点で約400万円)を助成金として交付している。
課題	基金の運用資金(利子収入)だけでは事業経費を賄えず、これまでの剰余金(約400万円)を取り崩して事業を維持している状態であり、今後本事業のあり方を検討していく必要がある。
今後の方向性	すばるホールでも文化助成事業を実施していることから、一元化について検討していく。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (2) 未来の担い手を育む教育
個別施策 4	未来の担い手の育成

事務事業	青少年団体補助事業
事業目的	子ども会育成連絡協議会活動やボーイスカウト・ガールスカウト活動を支援することにより、児童の健全な育成を図る。
事業概要	子ども会育成連絡協議会活動経費の負担。
平成 30 年度の主な実施内容	<p>[普及事業]</p> <p>広報誌の作成</p> <p>[体育活動事業]</p> <p>秋のスポーツ大会(参加者がなかったため中止)</p> <p>おわかれスポーツ大会(参加者がなかったため中止)</p> <p>[文化活動事業]</p> <p>こども作品展の開催 (平成 30 年度出展数：158 点)</p> <p>[野外活動事業]</p> <p>チャレンジクラブ事業として、単位子ども会から参加者を募り、年 8 回のプログラムを実施</p> <p>たこあげ大会の開催 (平成 30 年度：雨天の為中止)</p>
点検・評価	本団体は、幅広い異年齢間の交流、指導者・育成者等の交流、またこどもの主体的な活動を実施している。本団体の活動は、青少年の健全育成に携わり、未来の担い手の育成に寄与している。
課題	単位子ども会・加入者の減少、また市子ども会育成連絡協議会の指導者の高齢化等があげられる。
今後の方向性	現在の市子ども会育成連絡協議会の事業運営等に関わっている役員は、単位子ども会からの選出ではなく、市子ども会育成連絡協議会のみで活動をされている指導者である。単位子ども会からの選出をしない理由としては、各単位子ども会の育成者の負担を軽減し、加入者の増加を目的としている。今後役員を選出方法等を単位子ども会の育成者の負担を考えながら検討していく必要がある。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (1) 親と子を支える子育て環境づくり
個別施策 2	子ども・子育て支援の充実

事務事業	放課後子ども教室推進事業																												
事業目的	地域のボランティア指導員の方々の参画・協力を得て、全ての児童を対象として放課後や週末等に小学校の施設を活用し、安心・安全な子どもの活動場所を確保し、スポーツや文化活動、交流活動等をとおして、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる教育コミュニティづくりを推進する。																												
事業概要	市内 16 小学校の学校施設を利用し、各校区で協力頂く地域のボランティア指導員の方々との連絡調整及び活動プログラムの企画・立案をすると共に、放課後や週末等にスポーツや文化活動、交流活動等を実施します。また、地域ボランティア指導員を対象とした指導者講習会を実施。																												
平成 30 年度の主な実施内容	<p>[放課後子ども教室開催回数等]</p> <p>平成 30 年 5 月 1 日現在在籍児童数：5,196 人</p> <p>16 小学校合計開催回数：286 回 参加児童数：10,302 人</p> <p>【参考：放課後子ども教室開催回数等推移（小学校全体）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>357</td> <td>348</td> <td>334</td> <td>314</td> <td>286</td> </tr> <tr> <td>参加児童数</td> <td>13,093</td> <td>11,746</td> <td>12,724</td> <td>11,018</td> <td>10,302</td> </tr> <tr> <td>在籍児童数</td> <td>5,749</td> <td>5,463</td> <td>5,372</td> <td>5,293</td> <td>5,196</td> </tr> </tbody> </table> <p>【資料編 P56：「放課後子ども教室（学校別）参加状況」参照】</p> <p>[主な教室内容]</p> <p>クリスマスかざり、アイロンビーズ、たこづくりなどの文化交流事業やドッチボール、バトミントンなどスポーツ活動を放課後や週末に実施。</p>						H26	H27	H28	H29	H30	回数	357	348	334	314	286	参加児童数	13,093	11,746	12,724	11,018	10,302	在籍児童数	5,749	5,463	5,372	5,293	5,196
	H26	H27	H28	H29	H30																								
回数	357	348	334	314	286																								
参加児童数	13,093	11,746	12,724	11,018	10,302																								
在籍児童数	5,749	5,463	5,372	5,293	5,196																								
点検・評価	放課後の安全で安心な居場所が確保できていて子どもや保護者に好評であり、継続的な実施が望まれる。																												
課題	<p>ボランティア指導員の高齢化が進んでいることもあり、事前準備や当日の対応など職員の負担が大きい。</p> <p>また、土曜日の実施については、参加児童の安全面に不安があるため、土曜日の事業を平日のみの実施へ移行することを運営委員会に提案し承認を頂いたが、各校の実情から平日の開催が厳しいところもあり今後調整が必要。</p>																												
今後の方向性	<p>PTA やすこやかネットなどの地域活動のなかで、新たな若手の指導員の発掘を進めながら、生涯学習課の中でも係を越えての応援体制を強化していく。</p> <p>各校の現状の把握を進めていく。</p>																												

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3) 学び続けるための環境づくり
個別施策 6	市民文化・スポーツの推進

事務事業	スポーツ指導普及事業														
事業目的	市民の誰もが参加できる健康・体力づくり及び社会体育指導者の養成に重点をおき、スポーツの振興を図る。														
事業概要	スポーツ推進委員協議会による事業、ジュニアスポーツリーダースクール、体力測定会や各種指導者の派遣などの事業を行う。														
平成 30 年度の主な実施内容	<p>[トレーニング講習会・相談会参加者数]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随時講習会：516 人、相談会：12 人</li> </ul> <p>[体力測定会参加者数]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 回/年：37 人</li> </ul> <p>[ジュニアスポーツリーダースクール (JSL)]</p> <p>小学 4 年生～中学 3 年生までの児童・生徒を対象に年 10 回（内 2 回は、宿泊を含む）の講座を実施している。</p> <p>参加者数：延べ 588 人</p> <p><b>【ジュニアスポーツリーダースクール参加者数推移】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>749</td> <td>764</td> <td>721</td> <td>616</td> <td>588</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【資料編 P60：「スポーツ事業参加状況」参照】</b></p>					平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	749	764	721	616	588
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度											
749	764	721	616	588											
点検・評価	子どもの自立を促すカリキュラムに基づき、地域のリーダーとなる子どもを育成するための事業であるため、保護者からの期待も高く参加者も継続参加が多くみられる。														
課題	受益者負担で事業を実施していることから、参加者数が少なくなると事業実施が困難になる可能性がある。														
今後の方向性	ジュニアスポーツリーダースクールの新規受講者数、年間参加者数、体力測定会の参加者数が減少傾向にあるため、今後参加者数等を増加させ、事業を継続していく必要があると考える。														

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：生涯学習課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3) 学び続けるための環境づくり
個別施策 6	市民文化・スポーツの推進

事務事業	市民スポーツ活動推進事業																																		
事業目的	市民の体力向上を目的として、一人でも多く参加できる事業・大会を開催するとともに、社会体育団体及び指導者の育成を図る。																																		
事業概要	各種スポーツ団体等に委託するなどにより、市民体育大会、市民スポーツレクリエーション祭、市民マラソン大会、大阪府総合体育大会やドリームフェスティバルの開催などの事業を実施する。																																		
平成 30 年度の主な実施内容	<p>[各大会等参加者数]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民体育大会：19 競技で、4,938 名</li> <li>スポーツレクリエーション祭：817 名</li> <li>市民マラソン大会：455 名</li> <li>ドリームフェスティバル（対戦チーム：広島東洋カープ） 7 月 20 日：1,117 人、21 日：1,249 人 2 日間合計：2,366 人</li> </ul> <p>【参考：各大会参加者数推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民体育大会</td> <td>6,280</td> <td>5,348</td> <td>5,348</td> <td>4,307</td> <td>4,938</td> </tr> <tr> <td>スポーツレクリエーション祭</td> <td>957</td> <td>832</td> <td>808</td> <td>725</td> <td>817</td> </tr> <tr> <td>市民マラソン大会</td> <td>464</td> <td>436</td> <td>513</td> <td>511</td> <td>455</td> </tr> <tr> <td>ドリームフェスティバル</td> <td>1,699</td> <td>2,725</td> <td>2,971</td> <td>2,683</td> <td>2,366</td> </tr> </tbody> </table>						H26	H27	H28	H29	H30	市民体育大会	6,280	5,348	5,348	4,307	4,938	スポーツレクリエーション祭	957	832	808	725	817	市民マラソン大会	464	436	513	511	455	ドリームフェスティバル	1,699	2,725	2,971	2,683	2,366
	H26	H27	H28	H29	H30																														
市民体育大会	6,280	5,348	5,348	4,307	4,938																														
スポーツレクリエーション祭	957	832	808	725	817																														
市民マラソン大会	464	436	513	511	455																														
ドリームフェスティバル	1,699	2,725	2,971	2,683	2,366																														
点検・評価	各種スポーツ団体の積極的な活動により、市民がスポーツを身近に楽しむ場が多くあり、また、委託している各スポーツ大会でも一定の参加者がコンスタントに確保できており、市民のスポーツ活動を促進しており、事業自体は充実した内容のものとする。																																		
課題	長年にわたる活動・大会の実施の結果、内容の変化に乏しくなっており、市民ニーズとずれができ始めていること、また、高齢化に伴い参加者数が伸び悩んでいる部分がある。																																		
今後の方向性	市民ニーズをよりの確に把握し、いっそうの市民のスポーツ活動への参加を促すため、講師を招いての現状把握、改善策の模索、市民ニーズの把握を行い、市民スポーツ活動の推進を行いたい。																																		

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3) 環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	文化財管理事業
事業目的	市内の文化財等について維持管理及び指導等を行うことにより、歴史的資源の保全を図る。
事業概要	市内の文化財等の維持管理業務（除草・剪定、看板修繕等）、指定文化財所有者等への指導、指定文化財に関する事務、文化財保護審議会の開催等。
平成 30 年度 主な実施 内容	<p>[文化財や文化財説明看板等の維持管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が管理する文化財において、除草・樹木剪定や、大阪府北部地震に伴い「錦織一里塚」を囲むコンクリートブロック塀を改修するとともに、市域において、劣化が激しい道標の修繕や「東高野街道」啓発看板の設置を年次計画に基づき実施した。</li> </ul> <p>[文化財保護審議会の開催等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に制定した文化財保護条例に基づき、市指定文化財制度の運用整備を図った。</li> <li>・同条例に基づき文化財保護審議会を開催し、本市文化財行政の推進に向けた助言・指導を得るとともに、市指定文化財候補に関する審議を当審議会へ諮問し、至当であるとの答申を得た。</li> </ul>
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財や文化財説明看板の維持管理を適切に行うことで、文化財や歴史環境の保全を図ることができた。</li> <li>・翌年度 4 月開催の定例教育委員会会議において、文化財保護審議会の答申に基づく議決を経た後、本市初の市指定文化財を指定することができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財内の雑草は天候により成長が早まるため、見学者から苦情を受けることがある。</li> <li>・市内に所在する文化財の分布状況を把握するため、悉皆調査が必要であるとともに、未指定文化財の学術調査を行うため、文化財保護審議会の充実を図る必要がある。</li> </ul>
今後の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財施設について見学に適した快適な環境を維持するため、除草回数を見直す必要がある。</li> <li>・貴重な歴史的資源の保存に向けて、悉皆調査の基礎データ作成に着手するとともに、未指定文化財の学術調査のため文化財保護審議会に専門部会を設置する。</li> </ul>

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3) 環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	埋蔵文化財調査事業
事業目的	開発等により破壊される可能性のある埋蔵文化財を発掘調査し、記録保存する。 又、国指定史跡である新堂廃寺跡等を整備する。
事業概要	文化財保護法に基づく発掘届出の受付事務（通知を含む）、富田林市開発指導要綱に基づく指導・協議、立会・事前・試掘・本調査業務、国指定史跡新堂廃寺跡整備事業等。
平成 30 年度の主な実施内容	[埋蔵文化財発掘調査業務] ・文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の発掘事務等（届出の受付、開発指導要綱に基づく指導・協議）を行った。また、発掘調査として、個人住宅等の建設に伴う調査を国庫補助事業として実施するとともに、民間開発、公共事業に伴う調査を実施した（届出 148 件、本発掘調査 6 件、試掘調査 22 件）。 [史跡新堂廃寺跡の整備に向けて] ・史跡新堂廃寺跡の整備に向けて大阪府と協議を重ねた。
点検・評価	・文化財保護法に基づき埋蔵文化財発掘調査に係る一連の業務を行い、開発等により破壊される可能性のある遺跡の記録保存を進めることができた。 ・史跡新堂廃寺跡の整備に向けて大阪府と協議し、翌年度に向けた作業の方向性について、共通認識を持つことができた。
課題	・発掘現場が重複すれば、現場での指導業務が優先することになり、遺物の整理、保存、報告書刊行等の作業が予定通りに進まない。 ・史跡新堂廃寺跡整備に向けて、土地問題や文化財保護法による制約など課題は山積しているが、引き続き諸課題の解決に段階的に取り組む必要がある。
今後の方向性	・文化財保護法に基づき埋蔵文化財発掘調査に係る一連の業務を確実に遂行するため、業務の一部を委託する等、業務の効率化を図るための取り組みを行う。 ・史跡新堂廃寺跡の整備に向けて、引き続き関係機関との調整を進めながら、諸課題の解決に取り組むとともに、整備に関する全国の事例・手法の研究や当該史跡に関する普及啓発を進める。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3) 環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	寺内町保存事業
事業目的	富田林寺内町の歴史的町並みの保存を推進し、地元組織や関連団体と連携しながら、町全体の活性化を図る。
事業概要	富田林寺内町内の景観照明灯や施設等の維持管理を始め、町並み保存に係る業務、寺内町の活性化に向けた普及啓発事業、伝統的建造物群保存審議会の開催等。
平成 30 年度の主な実施内容	<p>[寺内町の町並み保存]</p> <p>富田林寺内町内の施設や景観照明灯等の適正管理に努めるとともに、歴史的建物である伝統的建造物の区別と建物所有者の理解を得るため「伝統的建造物表示プレート」を作成し、建物所有者へ配布した。</p> <p>[重伝建地区拡大事業]</p> <p>重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）拡大事業について、着手 4 年目の 30 年度は、文化庁文化財審議会委員による現地調査に対応した。</p> <p>[伝統的建造物群保存審議会の開催]</p> <p>伝統的建造物群保存地区保存条例に基づき、伝統的建造物群保存審議会や専門部会を開催し、伝建地区保存等に関する重要事項について審議した。</p> <p>[寺内町の活性化等]</p> <p>普及啓発事業として、行政・住民・地元団体が連携協力して重伝建地区拡大選定記念イベントを地区内各所で開催するとともに、ショッピングセンターや富田林中・高等学校と連携協力した町並みパネル展、出前講座への講師派遣、公共施設を活用したイベント等を実施した。その他、地元団体の会議へ定期的に参加し、地域の課題や今後のまちづくりについて情報交換を行った。</p>
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富田林寺内町内の施設や景観照明灯等の維持管理を適切に行うことで、富田林寺内町の住環境保全を図ることができた。</li> <li>・平成 27 年度から年次計画に基づき取り組んできた富田林寺内町全域での重伝建地区選定（重伝建地区拡大事業）について、平成 30 年 8 月に実現することができた。これを記念し、行政・住民・地元団体が連携協力して記念イベントを実施したことで、富田林寺内町の歴史的町並みの保存や町の活性化に係る現状と課題について、改めて 3 者間で認識を共有することができた。</li> <li>・普及啓発事業として、ショッピングセンターや富田林中・高等学校と連携協力してパネル展示を実施するなど、従前よりも会場を拡大したことで、重伝建地区制度の周知や富田林寺内町の魅力発信につながった。</li> </ul>

課題	富田林寺内町では、建物所有者の高齢化や空き家問題などが顕在化しており、このままでは歴史的町並みが失われる可能性がある。そのためにも地元関連団体等と連携して対策を講じる必要がある。
今後の方向性	地元関連団体等と連携しながら、空き家バンク事業や町家利活用の検討など、富田林寺内町の活性化事業を推進し、富田林寺内町の歴史的町並み保存の推進と、町全体の活性化を図る。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3) 環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	歴史資料保存活用事業
事業目的	市民の文化財保護意識を高めるため、埋蔵文化財や古文書、民俗資料等の歴史資料の整理・保存及び活用を図り、文化財の普及啓発に努める。
事業概要	埋蔵文化財センターの管理、歴史資料の整理・保存、歴史資料を活用した展示・講演会等の普及啓発事業等。
平成 30 年度の主な実施内容	<p>[歴史資料の整理保存・活用]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史資料の整理保存を進めるとともに、各種文化財に対する照会への回答や資料貸出しを行った。また、普及啓発事業については、江戸期の村絵図を紹介した企画展示、市民団体や他市博物館の協力を得て「石川足跡化石」に関する一連の企画事業（展示・講演・短編映画・ハイキング）を実施するなど、新たなテーマで実施方法を工夫するとともに、学校他からの依頼による出前講座 7 件へ講師派遣を行った。</li> </ul> <p>[埋蔵文化財センターの管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>埋蔵文化財センターの管理を適正に行うとともに、施設見学者を 89 人、資料調査で 3 人を受け入れた。</li> </ul>
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>普及啓発事業について、市が所有する歴史資料を分かりやすく紹介するとともに、市民団体や他市博物館の協力を得て実施方法を工夫したことで内容の充実が図られ、幅広い層から好評を得ることができた。</li> </ul>

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、本市が保管する大量の歴史資料について、数ヶ所の公共施設で分散保管しており、どの施設も満杯状態であることから、効率的な資料管理とは言えない。</li> <li>・市指定文化財資料を含む歴史資料の保管環境（温度、湿度など）を改善し、適正管理に向けて取り組む必要がある。</li> <li>・市民が気軽に文化財に親しむ機会を創出するため、普及啓発事業の効果的な実施方法を工夫する必要がある。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料の活用に供するためにも、年次的に資料の整理選別を進めるとともに、恒久的に保管するための施設が必要である。</li> <li>・腐食が進む鉄器類の保存処理を実施するとともに、保管庫を備えるなど、保存環境を改善していく。</li> <li>・文化財に親しむ機会を創出し市民の愛郷心を醸成するため、今後も普及啓発事業を継続するとともに、気軽に文化財に親しめるよう、公共施設だけではなく民間施設も活用した巡回展示等の効果的な実施方法を検討する。</li> </ul>

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3) 環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	寺内町整備事業・街なみ環境整備事業																						
事業目的	富田林寺内町地区内における伝統的建造物の修理及び一般建造物の修景に対し補助を行うことによって、歴史的町並みを保全し景観形成を推進する。																						
事業概要	富田林寺内町地区内の建築物等の修理・新築・改築等における現状変更行為に関する受付及び許可、並びに、内容相談及び技術指導。																						
平成 30 年度の主な実施内容	<p>富田林寺内町地区内の建築物等について、修理・新築・改築などの現状変更行為に関する受付、相談及び技術指導を行うとともに、伝統的建造物や一般建造物の修理・修景補助を実施した。特に、当年度は台風 21 号により地区内の多くの伝統的建造物が被害を受けたことから、補助対象となる建物所有者と調整を重ねた結果、修理・修景事業（事業補助）を実施できることになった。（ただし実施については翌年度へ繰越）</p> <p>現状変更行為の受付・許可：17 件、修理修景補助 3 件（内、伝統的建造物群保存地区保存事業費補助 2 件、修理修景施設整備費補助 1 件）</p> <p><b>【参考：寺内町地区の修理・修景実績推移】</b> <span style="float: right;">単位：件</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> <th>30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富田林伝統的建造物群保存地区保存事業</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>街なみ環境整備事業</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	富田林伝統的建造物群保存地区保存事業	3	3	5	3	2	街なみ環境整備事業	0	0	2	2	1
事業名	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度																		
富田林伝統的建造物群保存地区保存事業	3	3	5	3	2																		
街なみ環境整備事業	0	0	2	2	1																		
点検・評価	台風 21 号被害を受けた補助対象となる伝統的建造物の修理・修景件数が 15 件以上あることから、所有者のご理解を得て歴史的町並み保全の推進を一気に進めることができた。																						
課題	富田林寺内町地区では、建物所有者の高齢化や空き家問題などが顕在化しており、このままでは、歴史的町並みが失われる可能性がある。そのためにも修理・修景事業を速やかに実施することは、歴史的町並み保全対策の一つとなる。																						
今後の方向性	富田林寺内町の文化財的価値向上を図り、後世へ良好な歴史的町並みを継承していくため、今後も継続して修理・修景事業に対する相談に丁寧に応じ、当事業を速やかに実施していく。																						

(2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：文化財課

【総合基本計画における施策体系】

分野別施 4	安全・安心で美しく快適なまちづくり (3) 環境にやさしく美しい地域づくり
個別施策 29	自然・歴史環境の保全

事務事業	重文旧杉山家管理事業・寺内町センター管理事業・じないまち交流館管理事業・じないまち展望広場管理事業・旧田中家住宅管理事業																								
事業目的	富田林寺内町内に位置する4施設(重要文化財旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち交流館・じないまち展望広場)と登録有形文化財旧田中家住宅を含む5施設の維持管理・運営と活用を図る。																								
事業概要	<p>①重要文化財旧杉山家住宅：文化財施設として有料公開。入館受付や施設案内、書籍等販売、イベント開催等。</p> <p>②寺内町センター：休憩場所を備えた展示施設として無料公開。施設貸出受付。</p> <p>③じないまち交流館：当館のみ指定管理者が管理運営。寺内町来訪者へ憩いの場を提供。寺内町の情報発信や施設貸出受付、イベント開催等。</p> <p>④じないまち展望広場：寺内町来訪者へ憩いの場を提供。</p> <p>⑤旧田中家住宅：文化財施設として無料公開。施設貸出受付やイベント開催等。</p>																								
平成30年度の主な実施内容	<p>[維持管理及び施設公開等]</p> <p>各施設の維持管理、施設公開及び施設貸出業務、書籍等販売等。</p> <p>【参考：施設入館者推移】 <span style="float: right;">単位：人</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">施設名</th> <th style="width: 10%;">26年度</th> <th style="width: 10%;">27年度</th> <th style="width: 10%;">28年度</th> <th style="width: 10%;">29年度</th> <th style="width: 10%;">30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重要文化財 旧杉山家住宅</td> <td>10,973</td> <td>10,533</td> <td>11,060</td> <td>9,783</td> <td>8,941</td> </tr> <tr> <td>じないまち交流館</td> <td>34,061</td> <td>34,068</td> <td>33,672</td> <td>28,648</td> <td>29,139</td> </tr> <tr> <td>旧田中家住宅</td> <td>7,902</td> <td>6,916</td> <td>8,188</td> <td>7,456</td> <td>6,973</td> </tr> </tbody> </table> <p>[施設改修]</p> <p>重要文化財旧杉山家住宅(建具改修や美装化工事、大阪府北部地震に伴う北側コンクリートブロック塀改修)、寺内町センター(石垣緊急改修工事)</p> <p>[施設活用事業]</p> <p>住民を中心に季節ごとに開催される地域イベント「じないまち四季物語」に合わせた企画や「石上露子生誕祭」、「河内の古民家めぐり」など、施設を活用した企画イベント等を実施した。</p>	施設名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	重要文化財 旧杉山家住宅	10,973	10,533	11,060	9,783	8,941	じないまち交流館	34,061	34,068	33,672	28,648	29,139	旧田中家住宅	7,902	6,916	8,188	7,456	6,973
施設名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																				
重要文化財 旧杉山家住宅	10,973	10,533	11,060	9,783	8,941																				
じないまち交流館	34,061	34,068	33,672	28,648	29,139																				
旧田中家住宅	7,902	6,916	8,188	7,456	6,973																				

平成30年度の主な実施内容	<p>[その他]</p> <p>効率的で効果的な施設管理運営に向けて、旧田中家住宅のサウンディング型市場調査やアンケート調査を実施するなど、各施設が抱える課題の洗い出しや管理運営方法について見直しを図った。</p>
点検・評価	<p>施設改修を計画的に実施したことで、施設利用者の安全や快適性の確保はもとより、文化財施設の継承に繋がった。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、富田林寺内町への来訪者数は、やや減少傾向にあることから、リピーターの確保や交流人口の増加に向けた、新たな取り組みが必要である。</li> <li>・効率的で効果的な管理運営を行うため、蔵や倉庫内にあふれる備品や民具整理、インターネットをはじめ施設環境の整備等が必要である。</li> </ul>
今後の方向性	<p>5施設の管理運営方法について見直しを図った結果、令和2年度より富田林寺内町内に位置する4施設を包括的に管理運営するため指定管理運営に移行することとし、寺内町外に位置する旧田中家住宅については、地域活性化を視野に入れた活用案の実現性を検討していく。</p>

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：公民館

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3) 学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	中央・東・金剛公民館事業
事業目的	市民の多様な学習意欲に対応するために主催講座の質・量などの充実を図るとともに、学習を通じた交流や自主的な学習への支援・援助を行い、活気ある地域社会を構築するための事業を展開する
事業概要	公民館主催講座の実施 公民館クラブ連絡会の育成 公民館施設管理業務
平成 30 年度の主な実施内容	① 公民館主催講座・事業の計画・実施並びに学習状況の提供 3 館合計で 84 講座を実施した。大学や専門機関等をはじめ、公民館クラブや公民館特技登録者など地域の人材を講師として活用し、多彩な事業を行った。 【資料編 P62・63：「公民館利用状況等」参照】 ② 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導 「納涼の夕べ」(東)、憲法月間「檻の中のライオン」(中央) 人権週間映画「光」(金剛) など地域に密着した催しを行い、地域文化の向上と今日的な課題に取り組んだ。 さらに、「公民館まつり」、「合同作品展」、「クラブ体験ウィーク」など、3 館共同事業を実施し、クラブ活動の活性化を図った。
点検・評価	全体の公民館利用者数は人口減少に伴い少しずつ減少の傾向にあるが、主催講座の延べ学習者数は、予定を上回ることができている。 今後、少子高齢化等に対応した、本市の魅力を引き出すような事業をより活発に展開していく。
課題	施設面では、建物及び、各種備品の老朽化が進む中、安全な施設整備と施設のバリアフリー化が早急な課題である。
今後の方向性	ブロック塀が不適合のため、令和元年度で改修工事を予定している。また、備品に関しては総点検を実施するとともに、利用者の安全性を最優先に考え、備品・設備の更新を計画的に行っていく。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：公民館

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3) 学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	公民館運営審議会事務
事業目的	公民館が各種社会教育事業を実施するにあたり、その運営が有効適切に行われることを目的とする。
事業概要	公民館運営審議会は、館長の諮問機関として、館長からの諮問に対して答申を行うほか、公民館が行う各種事業、及び公民館運営全般について調査・審議を行う。
平成 30 年度の主な実施内容	公民館運営審議会を開催 7月と3月の年2回開催。第1回では、前年度事業報告、第2回では次年度事業等の審議を行った。
点検・評価	近年の運営審議会では、公民館で行う各種事業の報告及び計画だけでなく、公民館が抱えている課題、諸問題について活発な意見が出されるようになってきている。
課題	運営審議会においては、現状の年2回（事業報告・事業計画）が定例化されている。今後に向けての課題の整理や方向性について、審議していただく必要がある。
今後の方向性	公民館運営審議会は、館長の諮問機関であり、公民館の課題、諸問題について審議し、今後に向けた公民館のあり方、事業の方向性を提示していただくことを目的とした会議であり、その開催回数等については、ある程度フレキシブルに対応し、研修会・先進地視察等も含めた臨時会議の開催も検討していく。

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：図書館

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育 (3) 学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進

事務事業	中央図書館事業・金剛図書館事業
事業目的	図書館法に基づき、生涯学習の拠点施設として、赤ちゃんから高齢者まですべての市民に役立つ図書館資料や情報を収集し、提供する。
事業概要	市民の生活や活動の支援、生涯学習支援、学校図書館支援、地域文化情報・歴史情報の収集・蓄積・発信、図書館協議会及び活動団体との連携・協働。また、「富田林市子ども読書活動推進計画」の推進、乳幼児、児童、高齢者、障がい者、外国人の利用者サービスの充実、近隣図書館間の広域相互利用の推進など市民の読書環境の整備に努める。
平成 30 年度の主な実施内容	<p>【資料編 P64：「図書館 利用状況」参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第 2 次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づいて</li> <li>①健康づくり推進課との連携により、妊娠期から親に子どもの読書に関心を持ってもらうため、母子健康手帳交付時に絵本の紹介等のリスト「もうすぐママになれる方へ」の配布を開始</li> <li>②市立小学校・中学校教職員向けに、市役所各課連絡箱を活用して、業務遂行に参考となる資料の貸出を実施する「事務用貸出」を開始</li> <li>③金剛図書館にて、あかちゃんのおはなし会 2 歳児の部「くま組」を開始</li> <li>④学童クラブ配本便を年 3 回から 6 回に増便</li> <li>・児童向け「おたのしみ袋」に続き、大人（高校生以上）向け「おたのしみ袋」の貸出を実施</li> <li>・リーフレット「本の文字が読みづらい方へ」を作成し、加齢等で文字の読みづらい方へ大活字本や CD 等の情報を提供</li> <li>・中央図書館で閲覧室の椅子カバー張替えを継続して実施</li> <li>・金剛図書館では、スロープ屋根鉄骨と排煙窓の修繕、閲覧室ダウンライトの LED 化、玄関ロビーチェアの交換を実施</li> <li>・図書館コンピュータシステムのネットワーク機器及びカウンター機器を更新。</li> <li>・20 年を経過した自動車文庫つつじ号を小型化で更新したので、積載冊数減によるサービスの見直しをするため自動車文庫委員会（BM 委員会）を立ち上げ業務の検討を実施</li> <li>・児童資料としての学習まんがの受け入れについて 1 年をかけて検討を実施</li> </ul>

点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第2次富田林市子ども読書活動推進計画」を策定する過程で関係課との連携協力が深まり、母子健康手帳交付時の「もうすぐママになれる方へ」の配布や市立小学校・中学校教職員向けの「事務用貸出」を開始し、地域や学校での子どもの読書活動を推進した。</li> <li>・利用者から要望もあったあかちゃんのおはなし会2歳児クラスを金剛図書館において新たに設け、継続しておはなし会を楽しんでいただく場を提供できた。</li> <li>・学童クラブ配本便による団体貸出は、配本回数増と、担当職員が学童クラブ指導員と連絡を取り本の要望を把握する努力により、前年度に比べ貸出は3,769冊増加した。</li> <li>・児童向けに続き大人向け「おたのしみ袋」は、利用者からのよい試み等の声や感動したとの手紙もいただき反響が大きく貸出にもつながった。</li> <li>・中央図書館の椅子カバー張替えや、金剛図書館の閲覧室ダウンライトの改修により、館内環境の整備が更に進んだ。</li> <li>・図書館コンピュータ機器の更新により、安心して便利な図書館利用の提供について継続して努めた。</li> <li>・自動車文庫つつじ号の小型化により、巡回曜日を増やし巡回時間を見直したことにより、利用が増加しているステーションもある。ステーションごとに積載資料を大幅に積み替えるなどの工夫と、利用者の要望を把握することに力を注ぐとともに、今後もより市民が利用しやすい運行等の検討を継続していく必要がある。</li> <li>・669冊配布した「読書手帖」は、読書の記録となり利用者の読書の喜び励みに繋がっているが、カウンターでの配布を更に進めたい。</li> <li>・市民会館窓口での予約図書等受取は、1,946点で、利便性の向上に継続して努めた。</li> <li>・録音図書をよく利用される視覚障がいの方の定着により、前年度に比べ利用延べ人数が156人増加した。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【参考：録音図書等延貸出人数推移】</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">46人</td> <td style="text-align: center;">53人</td> <td style="text-align: center;">79人</td> <td style="text-align: center;">181人</td> <td style="text-align: center;">337人</td> </tr> </tbody> </table>	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	46人	53人	79人	181人	337人
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度							
46人	53人	79人	181人	337人							
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続課題として <ul style="list-style-type: none"> <li>①図書館を利用していない市民への働きかけ</li> <li>②「第2次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づく、関係課との推進会議による連携により、新たな数値目標に向けての更なる子どもの読書活動の推進</li> <li>③地域行政資料の保存・活用のために書庫の拡大</li> <li>④中央図書館の貨物用エレベーターの更新</li> </ul> </li> </ul>										

課題	<p>⑤建物全体が経年劣化している金剛図書館においては、利用者の安全、安心確保の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車文庫の小型化により希望のある市立幼稚園への団体貸出の運行が可能となり、令和元年度より開始するため、自動車文庫委員会（BM 委員会）で十分な検討をする必要がある。</li> <li>・60 歳以上の利用者の割合が増加しており、更なる高齢者へのサービス拡充について検討の必要がある。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車文庫の効率的な運行を進めるため、自動車文庫委員会（BM 委員会）において継続し検討していく。</li> <li>・高齢者サービスについても、委員会の形式をとり検討していく。</li> <li>・本が読みづらい利用者のための拡大読書器の設置を検討していきたい。</li> <li>・地震対策として、高い書架については、図書落下防止の対応をしていきたい。</li> </ul>

## （２）教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：図書館

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施 1	未来への希望を育む子育て・教育	(3) 学び続けるための環境づくり
個別施策 5	生涯を通じた学びの推進	

事務事業	図書館資料整備事業
事業目的	図書館法の理念に基づき、生涯学習の拠点施設として、収集方針に基づいた幅広い分野の図書館資料を収集し、整え、あらゆる年代の市民に情報の提供に努める。
事業概要	社会の様々な変化に伴い、高度化、多様化する市民の学習意欲、利用者のニーズに対応するため、収集方針に基づき地域行政資料や様々な分野の資料の収集に努め、学校への支援、広域利用にも対応し、赤ちゃんから高齢者まですべての市民に新鮮で、楽しく、役立つ資料を提供する。
平成 30 年度の主な実施内容	平成 30 年度は、一般図書 8,313 冊、児童図書 3,094 冊、視聴覚資料 359 点、合計 11,766 点を購入。
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる世代の市民に対し、幅広い分野の資料を収集し情報提供に努めることが継続できた。</li> <li>・図書館で役目を終えた図書は、市民会館・東公民館・きらめき創造館に設けたリサイクル図書コーナーの図書として活用した。</li> <li>・図書館で役目を終えた児童書については、保育園・幼稚園・小学校等の関係部署に、リサイクル図書として提供し活用していただいた。</li> </ul>

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第2次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づき、更に児童に役立つ図書を充実させていく必要がある。</li> <li>・要望のある学習まんがの受け入れについて検討し来年度受け入れに向けて準備しているが、予算配分が課題である。</li> <li>・市民に喜ばれ役立つ資料を限られた予算内で購入するための職員の選書能力を高める。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども読書活動を推進するため、赤ちゃん絵本や児童図書の充実、学校支援のための調べ学習に役立つ図書の充実に努める。</li> <li>・利用が増えつつある高齢者の利用促進のため大活字本、朗読CDなどの充実に努める。</li> <li>・資料検討委員会を立ち上げ受け入れることとなった学習まんがの利用について検証し、今後のさらなる受入に向けて継続して検討していく。</li> </ul>

## (2) 教育に関する事務の点検・評価シート

所管課：図書館

### 【総合基本計画における施策体系】

分野別施1	未来への希望を育む子育て・教育	(3) 学び続けるための環境づくり
個別施策5	生涯を通じた学びの推進	

事務事業	ブックスタート事業				
事業目的	「子ども読書活動の推進に関する法律」「富田林市子ども読書活動推進計画」に基づいた子どもの読書環境の整備を進めると同時に、乳幼児期の段階から保護者に対する読書啓発を図り、将来の子どもの豊かな心の成長を育む読書習慣につなげることを目的とする。				
事業概要	子育て支援の一助として、健康づくり推進課と連携し、4か月児健康診断時に乳児に絵本を配布し、同時に保護者に対して、乳幼児との絵本を通じたふれあいの大切さと必要性を伝え、図書館の利用案内、フォローアップ事業の「あかちゃんのおはなし会」の紹介をする。待ち時間を利用して、乳幼児ボランティアと協働して親子に絵本のよみきかせを行う。				
平成30年度の主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4か月児健診で赤ちゃんにプレゼントする絵本を配布。</li> </ul> <p>平成30年度実績：638冊配布</p> <p>【参考：ブックスタート配布絵本冊数推移】</p>				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	735冊	761冊	729冊	715冊	638冊
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォローアップ事業として「あかちゃんのおはなし会」を実施</li> </ul> <p>参加人数：69回実施、372人</p>				

点検・評価	<p>平成 30 年度は 100%の配布率で、638 冊の絵本を配布することができた。絵本 3 冊から 1 冊を選択してもらい、健康づくり推進課が把握する市内のすべての赤ちゃんに絵本をプレゼントし、保護者に絵本を通した言葉かけや親子のふれあいの大切さを伝えることができた。</p> <p>図書館の利用案内も同時に行い、フォローアップ事業の「あかちゃんのおはなし会」を紹介することで、参加者も定着しつつある。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児サービスボランティアの確保のため、乳幼児ボランティア育成講座を継続していく必要がある。</li> <li>・「あかちゃんのおはなし会」は、6 か月から 1 歳未満児と 1 歳児の実施に加え、要望のある 2 歳児対象の部を金剛図書館で開始することができた。今後は中央図書館でも開催を検討する必要があるが、場所の面で厳しい状況である。</li> </ul>
今後の方向性	<p>配布用絵本は、3 種類から 1 冊選択してプレゼントしており、親子で楽しめる絵本を選ぶように心がけるとともに、毎年価格・内容を含め絵本の見直しをしていく必要がある。</p>

## 「教育に関する事務の点検・評価報告書（平成 30 年度実績）」への所見

関西外国語大学外国語学部元教授 岡澤潤次

平成 30 年度の施策を対象とした富田林市教育委員会の「教育に関する事務の点検・評価報告書」について、1. 教育委員会の活動概況、2. 教育に関する事務の点検・評価、3. 資料編の 3 編に分けて編集された報告文書綴りを精査して、第三者の客観的な視点で、慎重かつ詳細に検討した。その際、各課等の事前説明の機会を設け、意見交換をもとにして、所見を述べる。

本報告書は、これまで、本市教育委員会が「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定を踏まえた「総合基本計画」に基づき作成されてきた。平成 29 年度からの 10 年間を期間とした、めざすべきまちの将来像《ひとがきらめく！ 自然がきらめく！ 歴史がきらめく！ みんなでつくる 笑顔あふれるまち 富田林》等を掲げた「総合ビジョン」、並びに将来像の実現に向けて必要な施策を示された「総合基本計画」を策定し、それに基づき、事業実施をなされてきた。年ごとに点検・評価・検証、改善を図ってきている。「教育に関する事務の点検・評価シート」で検証を一新して実施されることによりこれまでの「点検・評価報告書」を改めてられることとなった。

まず、各点検結果・評価シートごとに「総合基本計画」における施策体系を明示し、それぞれの事務事業についての目的、概要、該当年度の主な実施内容を記載し、「点検・評価」を行い、そこから抽出されたそれぞれの課題等についても子細に考察し、その対応策として今後の方向性を具体的に示されている。

財政事情が厳しい中であって、市民のニーズがさらに多様化する状況下、この事務事業の点検・評価報告書が地域住民に対する説明責任を果たす役割を十分担えているものと言えよう。

冒頭、教育委員会の活動概況について、教育委員会の委員構成表を掲載して、教育委員会を時系列に示した上で、主たる行事や会議等を月別に克明に記録されている。これは、教育委員会の活動状況及び実態が確認できて、明確に把握しやすくできている。

次に、教育に関する事務の点検・評価シートについて、各所管課で実施する事務事業のうち主要な事務事業を抜粋し逐一詳細に一覧表とし、分かりやすく示されていて、明解に把握できることが、この度の点検・評価報告書の第一の特長であると言える。ここに整理された事務事業をすべて詳細にコメントすべきことが本来だが、紙面の都合で、特に評価すべき事務事業のみを取り上げ特筆することにする。

### 1. 学校園における教育の充実について

○ 教育総務課の所管事業では、小・中学校ともトイレの改修工事は計画通り着実に進めている。空調設備面も国の新たな臨時特例的な補助制度を活用し積極的に、ハードの教育環境改善でその充実に努めている点が理解でき、尚一層の尽力を大いに期待する。

また、自然災害の対応に供する防災機能強化の方策も高く評価できる。それをもとに子どもに公共物の環境を大切に作る心も育みたい。

○ 教育指導室の所管事業では、個に応じたきめ細かな指導の充実をめざして、「少人数編成」や「少

人数学級指導」を実施し、そのため市費による加配教員の配備などより良い人材確保など鋭意努力していることが分かった。そのお陰で資料の全国学力調査結果からもグラフで示し、容易に把握できる。生徒指導面においても、様々な支援の施策により規範意識や他者への思いやりなど高い数値を推移するなど評価されていることから施策の充実が推察できる。ただ、貧困からくる不登校問題に着目する点、緊急重点課題としてその取組みの強化を一層望むところである。

また、総合的な学習の時間を活用して国が示す思考力・判断力・表現力の向上に向け、地域の多様な人材の招聘等、特に中学校で全国平均を上回る成果に敬意を表する。

奨学金給付、すこやかネット、教員研修会、幼児教育支援、幼・小・中の就学支援事業等多角的な教育力向上に精励する積極姿勢が子どもに反映されていると推察できる。

- 学校給食課の所管事業で、小学校は、正しい食習慣や人生の基礎となる心身の発達に寄与するなど事業目的に沿っている。中学校の喫食率は各学校の尽力で徐々に改善の方向にあり、半数以上の学校が目標値の50%以上となった。その一方で特定の学校において、50%未満が続くのは少々残念である。大阪府内で先駆的な取り組みを進め、中学校給食の推進モデル市として世に発信してもらいたい。

## 2. 生涯学習各課の各事務事業から

- 社会教育団体、放課後教室、市民スポーツ等の各推進事業は各担当課で事業目的達成に向けて、事業継続を進めるよう努めている。少子高齢化社会で発生する諸課題に対し、補助金の工面、参加者の確保、指導者の育成等創意工夫されているが、市民ニーズに対応した方策を大胆に見直し、活性化する必要に迫られている。
- 文化振興基金運用事業は市民の自主性と文化向上に役立っているが、基金に限りがあり、近い将来の不足が危惧される。
- 生涯を通じた学びの推進にとって、公民館が果たす役割は大きい。施設・設備面で老朽化やバリアフリー化に対処し、生涯学習の場として市民の安心・安全と快適な空間を確保し、学び続けることができるよう、諸事業の充実を図ることが求められる。
- 図書館事業、図書館整備事業、ブックスタート事業の展開において、新たな市民利用の機会と利用時間の利便性向上、予約図書を受取場所や曜日の拡大、管内環境の整備等々積極的な方策が概ね順調に推移している。図書館行政がさらに進み、市民の読書活動が図られるものと期待する。
- 自然・歴史環境の保全にあたり、従前から恵まれた文化財の保護に尽くされてきた。文化財管理、埋蔵文化財調査、寺内町保存、歴史資料保存活用、寺内町整備・街なみ環境整備等の諸事業に効果的対処をされていることを高く評価される。文化財保護法、本市開発指導要綱に適切に対応し、管理・運営を図るよう伝統的文化財を護り、市民に自然・歴史環境の大切さと魅力を一層啓発されることを期待する。

## 「教育に関する事務の点検・評価報告書（平成30年度実績）」への所見

大阪教育大学大学理事・副学長 森田英嗣

### 1. はじめに

平成29年度からの10年間について策定されたまちづくりの未来像である「総合ビジョン」、および必要な施策を示した「総合基本計画」に基づいて展開されている諸事業について、10月23日に行われた「意見交換会」にてご報告いただいたので、その内容も含めて所見を述べたい。

今回も「点検・評価報告書」が市民向けの報告書であることを踏まえ、施策毎に所見を述べることにする。

### 2. 所管課ごとの事業について

#### A. 教育総務課

トイレの洋式化、中学校普通教室への空調施設の設置、小・中学校防災機能強化など、教育環境を改善・整備するための事業を多様に展開していただいている。国からの交付金を積極的に活用し、確実に進めていただいている。今後も、「総合基本計画」に基づいた計画的な展開を期待したい。

#### B. 教育指導室

全国レベルで行われる学力学習状況は、小学校6年生と中学校3年生の時点で調査されるが、全国の平均と比べてみると、平成30年度の中学3年生の成績は、同じ子どもたちが3年前（平成27年）に小学校6年生であったときの成績と比べて、大きく改善していた。（小学校6年生の時点では富田林の子供たちの平均点は全国平均に及ばなかったが、3年後の中学校3年生の時点では全国平均を上回るようになった。）これはきわめて大きな成果だといえる。関係者の組織的な努力によるところが大きいですが、一つには、この間進めてこられた「少人数学級指導」が奏功したとみることができよう。引き続き、少人数化の推進が意識され、関係者の力が発揮できる環境づくりを意識していただきたい。

また、心理職、福祉職を含めたチーム学校による学校支援の体制が整ってきていることも、開かれた学校づくり（地域教育協議会の運営や支援）を進行させ、さらには学校が高度な教育活動を思い切り展開できるような支援体制になっていると考えられよう。

学力一辺倒ではなく、幼稚園では「舞台芸術の鑑賞」を通じた情操教育が重視されるなど、全人的な教育が志されていることも、子どもたちの成長によい影響を与えているであろう。

今後は、学校での「働き方改革」にも焦点を当て、得られた効果をより効率的に得られるような工夫も考えられてよいだろう。

### C. 学校給食課

中学生の給食喫食率が初めて目標の50%を超えた。また、給食費の徴収率も、給食費徴収管理業務を「富田林市債務管理マニュアル」に基づいて実施することで98%を越えたということである。両方の成果は関係者の皆さんのこれまでの努力の賜物であろう。

今後は、学校毎の喫食率の差異にも、注意していただき、事業の完成度を高めていただきたい。

### D. 生涯学習課

生涯学習課には、社会の変化、とりわけ少子化、高齢化の影響を強く受けている事業が多く見受けられる。たとえば、「社会教育団体補助事業」の「富田林市少年少女合唱団」の団員数は10年間で半減したということである。また、「青少年団体補助事業」では、子ども会の数や、加入者の減少があるということであるし、「放課後こども教室推進事業」とともに、指導者の高齢化が課題として挙げられている。「スポーツ指導推進事業」のジュニアスポーツリーダースクール参加者数、「市民スポーツ活動推進事業」の市民体育大会の参加者も右肩下がりである。

これらの事業の意義はいうまでもないが、それだけに、今後の持続可能な形を考える時期が近付いているようにも思われた。

### E. 文化財課

「文化財管理事業」では、文化財保護審議会の答申にもとづいて初の「市指定文化財」を指定できた。今後も「埋蔵文化財調査事業」、「寺内町保存事業」、「歴史資料保存活用事業」等を通して、富田林の歴史的・文化的資産を、市民の皆さんと共有すると同時に、後世に伝えるべくご尽力いただきたい。

なお、寺内町では所有者の高齢化や空家が増える傾向にあるとのこと、これまでの前提を見直さざるを得ない時期に差し掛かってきているように思われた。

また、「重文旧杉山家管理事業」他では4施設の維持・管理・運営・活用を、令和2年度から包括的に指定管理運営に移行させるとのことであるが、これまでの事業実施の質が落ちないように管理していただきたい。

### F. 公民館

「中央・東・金剛公民館事業」等、人口減により全体的に利用者が減少気味のようなのであるが、主催講座の学習者数は予定数を維持できているとのこと、今後も市民のニーズに敏感なサービスの提供に努めていただきたい。

### G. 図書館

「中央図書館事業・金剛図書館事業」では、外国人の利用者を含め、すべての人たちへのサービスを推進されている。その結果、60歳以上の利用者や、録音図書の利用者が増えており、外部環境の変化に敏感に対応できているように見受けられた。

また、「ブックスタート事業」では、4か月健康診断時に赤ちゃんに絵本をプレゼントするが配布率は100%とのことで、「赤ちゃんお話し会」とともに、きめの細やかなサービスだといえる。このようなターゲットを明確にした取組を、今後もニーズを踏まえて多様に展開させていただきたい。

## 《資料編目次》

1. 教育委員会所管施設（1）市立学校園等	49
（2）生涯学習・社会教育施設	50
2. 富田林市の人口推移	51
3. 年度別児童・生徒・園児数の推移	51
4. 就学援助	52
5. 富田林市奨学金	52
6. 全国学力・学習状況	52～53
7. 小学校、中学校の不登校の状況	53
8. スクールカウンセラーの相談件数	53
9. 教育農園活用（栽培活動実施）状況	53
10. 中学校給食 喫食率の推移	54
11. 小学校給食 実施状況	54
12. すばるホール施設利用状況	55
13. きらめき創造館利用状況	55
14. 放課後子ども教室参加状況	56
15. 出前講座開催状況	56
16. 成人式 参加状況	57
17. 市民文化祭 参加者状況	58
18. スポーツ施設利用状況	59
19. スポーツ事業参加状況	60
20. 市内の文化財	61
21. 公民館利用状況等	62～63
22. 図書館利用状況	64

# 1. 教育委員会所管施設

## (1) 市立学校園等

[小学校]

平成30年5月1日現在

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち運動 場面積(㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	児童数 H30.5現在
富田林小学校	常盤町16番20号	明 5. 5. 14	12,998	6,355	4,921	723	306
新堂小学校	若松町四丁目5番4号	明 6. 10. 1	18,542	7,859	7,817	1,365	388
喜志小学校	木戸山町1番36号	明 6. 2. 25	10,328	4,692	4,212	673	421
大伴小学校	南大伴町一丁目2番20号	明38. 5. 11	12,183	6,964	4,843	725	434
彼方小学校	大字彼方411番地	明 6. 5. 1	16,066	6,081	4,861	720	211
錦郡小学校	錦織南一丁目8番1号	明 5. 8. 15	10,833	5,101	4,315	743	250
川西小学校	新家一丁目3番1号	明26. 4. 1	15,469	6,609	4,997	725	318
東条小学校	大字龍泉566番地	明 5. 5. 1	12,766	4,942	2,970	636	91
高辺台小学校	高辺台三丁目1番1号	昭43. 1. 8	15,993	6,646	6,154	703	161
久野喜台小学校	久野喜台一丁目16番1号	昭44. 4. 1	19,803	9,156	5,659	758	309
寺池台小学校	寺池台四丁目3番1号	昭45. 1. 1	17,558	6,693	6,189	754	537
伏山台小学校	伏山二丁目1番1号	昭52. 4. 1	18,581	6,990	3,904	727	288
喜志西小学校	梅の里四丁目6番1号	昭53. 2. 22	17,184	9,412	3,019	725	283
藤沢台小学校	藤沢台二丁目3番1号	昭55. 4. 1	26,224	13,448	5,242	726	437
小金台小学校	小金台三丁目11番1号	平元. 4. 5	24,275	11,181	6,443	919	499
向陽台小学校	向陽台五丁目1番1号	平 2. 4. 1	26,754	9,774	5,793	919	263

[中学校]

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち運動 場面積(㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	生徒数 H30.5現在
第一中学校	寿町一丁目3番5号	昭22. 4. 1	25,372	13,326	8,115	983	368
第二中学校	新家一丁目4番1号	昭25. 4. 1	22,458	13,508	5,915	1,213	376
第三中学校	大字佐備15番地	昭46. 4. 1	25,889	12,351	6,002	850	362
金剛中学校	寺池台一丁目1番1号	昭43. 1. 8	30,253	14,481	7,914	1,018	425
葛城中学校	藤沢台三丁目4番1号	昭55. 4. 1	33,310	17,177	6,198	1,018	201
喜志中学校	梅の里一丁目7番1号	昭58. 4. 1	21,781	8,134	5,178	795	361
藤陽中学校	向陽台三丁目4番1号	昭61. 4. 1	29,400	15,890	5,837	1,182	293
明治池中学校	小金台二丁目11番1号	平 2. 4. 1	26,586	13,507	5,001	968	250

[幼稚園]

園名	所在地	創立年月日	園地面積 (㎡)	園舎面積 (㎡)	園児数 H30.5現在
富田林幼稚園	常盤町15番1号	大 3. 10. 1	2,554	906	32
新堂幼稚園	若松町四丁目7番1号	昭28. 4. 10	3,411	942	16
喜志幼稚園	木戸山町1番36号	昭29. 4. 10	1,541	421	40
大伴幼稚園	南大伴町一丁目2番5号	昭29. 4. 1	2,340	660	31
板持幼稚園	西板持町八丁目7番43号	昭28. 2. 4	1,755	584	休園
彼方幼稚園	大字彼方325番地の1	昭49. 4. 1	2,522	441	20
錦郡幼稚園	錦織南一丁目2番10号	昭29. 4. 20	1,957	424	25
川西幼稚園	新家一丁目3番2号	昭29. 4. 10	2,912	727	21
東条幼稚園	大字龍泉566番地	昭49. 4. 10	539	243	休園
伏山台幼稚園	伏山二丁目1番2号	昭52. 4. 11	4,821	700	12
喜志西幼稚園	梅の里四丁目7番1号	昭55. 4. 10	1,700	462	休園
青葉丘幼稚園	加太二丁目8番14号	昭31. 4. 1	2,884	970	26
津々山台幼稚園	津々山台一丁目20番9号	平 5. 4. 12	2,000	667	45

[給食センター]

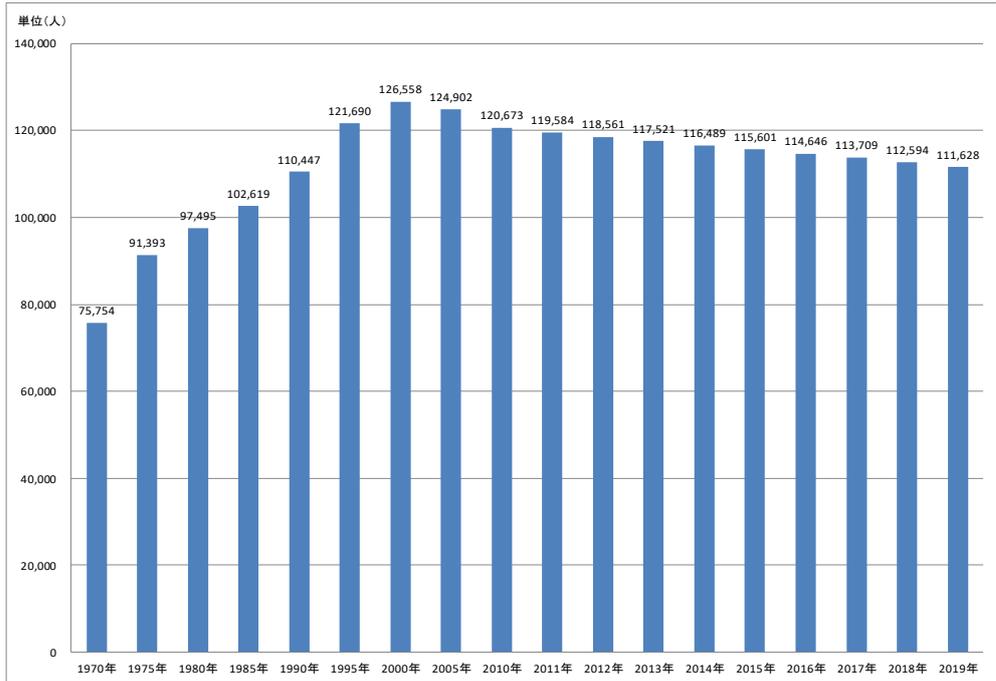
施設名	建設年月	敷地面積(㎡)	延べ床面積(㎡)
旧学校給食センター	昭47. 3	3,482	1,760
新学校給食センター	平30. 2	6,491	3,753

(2) 生涯学習・社会教育施設

施設名	建設年月	敷地面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	主要な施設
すばるホール	平成3年10月	10,136	18,799	ホール(806席)、小ホール、プラネタリウム、レセプションホール、音楽練習室、各種会議室
市民会館(レインボーホール)	昭和50年3月 平成元年3月	9,511	9,625	ホール(400席)、多目的ホール(700席)、各種会議室
富田林市きらめき創造館(Topic)	平成29年6月	887	1,765	自習室、スタジオ、グループ活動室、スタディールーム、ワーキングルーム、交流スペース
旧杉山家住宅(重要文化財)	昭和62年9月	1,432	720	
寺内町センター	平成3年3月	320	301	休憩室、展示室、会議室
じないまち交流館	平成18年3月	322	316	交流サロン、情報コーナー、和室、会議室、防災倉庫、防火水槽
じないまち展望広場	平成22年3月	611	117	小広場、休憩室、防火倉庫、防火水槽
埋蔵文化財センター	平成3年3月	第一中学校敷地内	819	収蔵室、展示室、復元室、資料室、事務室、洗浄室、会議室
旧田中家住宅	平成24年3月	770	233	和室1、和室2
中央公民館	昭和51年3月	3,495	1,776(図書館含む)	ホール、講座室、栄養室、和室
中央図書館	昭和51年3月	中央公民館内	764	閲覧室、書庫、朗読会議室
金剛図書館	昭和58年2月	3,800	1,876(公民館含む)	閲覧室、書庫、朗読会議室
金剛公民館	昭和58年2月	金剛図書館内	903	ホール、講座室、美術室、実習室、和室
東公民館	昭和56年3月	1,738	1,129	ホール、講座室、工作室、和室
中央公民館喜志分館	平成12年4月	レインボーホール内	237	美術室、講座室、和室
中央図書館東分室	昭和56年6月	東公民館内	57	図書室
市民総合体育館	昭和55年10月	13,154	4,782	主競技場、剣道場、柔道場、卓球室、トレーニングルーム、会議室
総合スポーツ公園	平成6年3月	136,462	—	多目的競技場、野球場、テニスコート(8面)、ゲートボール場、わんぱく広場、展望台、ジョギングコース
青少年スポーツホール	昭和46年3月		1,069	競技場
青少年教育キャンプ場	昭和46年3月	4,958	—	管理棟、調理場、炊事場
テニスコート 中野	昭和52年8月	13,703	—	ハードコート3面、クレーコート5面
金剛東	昭和56年4月	1,385	—	アンツーカー2面
金剛	昭和53年11月	680	—	アンツーカー1面
津々山台	昭和63年7月	1,600	—	アンツーカー2面
津々山台第2	平成8年4月	1,540	—	ハードコート2面
グラウンド 金剛中央	昭和44年10月	7,830	—	軟式野球、少年野球、ソフトボール
金剛東	昭和56年4月	7,630	—	軟式野球
喜志プール横	昭和40年12月	5,646	—	少年サッカー、女子ソフトボール
喜志(河川敷)	昭和53年9月	48,761	—	軟式野球、ソフトボール2面
川西(河川敷)	昭和53年11月	27,688	—	軟式野球、ソフトボール4面、ゲートボール8面
西板持(河川敷)	昭和56年4月	37,946	—	少年野球、ソフトボール3面
石川(河川敷)	平成19年4月	12,120	—	サッカー1面、ゲートボール1面
若松東	平成22年4月	8,765	—	少年野球、ソフトボール1面
中野2号公園	昭和58年2月	3,600	—	ソフトボール1面
中野3号公園	昭和58年1月	5,680	—	少年野球、ソフトボール1面
錦織多目的	平成27年4月	7,751	—	グラウンドゴルフ他
ゲートボール場 彼方	不明	710	—	ゲートボール1面
津々山台	平成10年4月	1,080	—	ゲートボール2面
グラウンドゴルフ 川西(河川敷)	平成22年4月	8,660	—	グラウンドゴルフ2面
市民プール(アクアパークきらめき)	平成27年4月	3,483	—	25mプール、幼児用プール

## 2. 富田林市の人口推移

年	人口
1970年	75,754
1975年	91,393
1980年	97,495
1985年	102,619
1990年	110,447
1995年	121,690
2000年	126,558
2005年	124,902
2010年	120,673
2011年	119,584
2012年	118,561
2013年	117,521
2014年	116,489
2015年	115,601
2016年	114,646
2017年	113,709
2018年	112,594
2019年	111,628



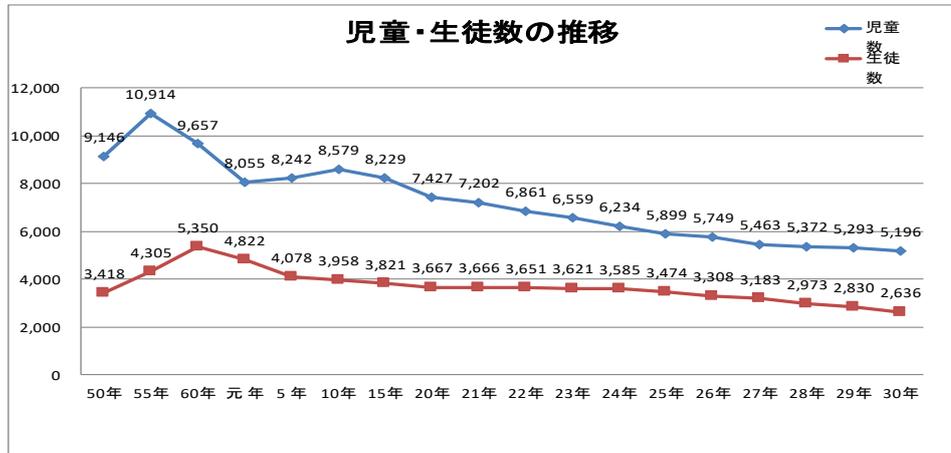
※1970年～2000年 国勢調査

※2005年以降 富田林市人口表(各年3月末時点)

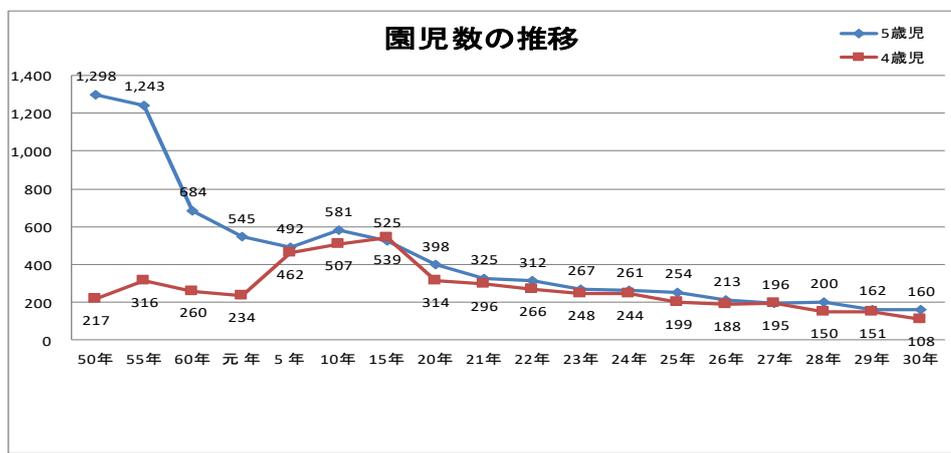
## 3. 児童・生徒数・園児数の推移

※各年 5月1日現在

年	児童数	生徒数
50年	9,146	3,418
55年	10,914	4,305
60年	9,657	5,350
元年	8,055	4,822
5年	8,242	4,078
10年	8,579	3,958
15年	8,229	3,821
20年	7,427	3,667
21年	7,202	3,666
22年	6,861	3,651
23年	6,559	3,621
24年	6,234	3,585
25年	5,899	3,474
26年	5,749	3,308
27年	5,463	3,183
28年	5,372	2,973
29年	5,293	2,830
30年	5,196	2,636



年	5歳児	4歳児
50年	1,298	217
55年	1,243	316
60年	684	260
元年	545	234
5年	492	462
10年	581	507
15年	525	539
20年	398	314
21年	325	296
22年	312	266
23年	267	248
24年	261	244
25年	254	199
26年	213	188
27年	196	195
28年	200	150
29年	162	151
30年	160	108



#### 4. 就学援助

就学援助認定者数(要保護+準要保護)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	1,781	1,652	1,623	1,520	1,475	1,402	1,319
中学校	1135	1111	1042	951	874	766	739
合計	2,916	2,763	2,665	2,471	2,349	2,168	2,058

就援率

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	28.2%	28.0%	28.2%	27.8%	27.5%	26.5%	25.4%
中学校	31.3%	32.0%	31.5%	29.9%	29.4%	27.1%	28.0%
合計	29.3%	29.5%	29.4%	28.6%	28.1%	26.7%	26.3%

#### 5. 富田林市奨学金

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
支給者(人)	117	118	118	120	123	121	120
申請者数(人)	211	264	261	312	263	248	219

#### 6. 全国学力・学習状況

全国学力・学習状況調査 国語Aの正答率 ( )大阪府平均 ※H24のみ府調査

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	71.1(73.1)	60.5(61.2)	69.7(70.7)	67.1(67.6)	69.0(71.3)	70.2(72.1)	67.7(68.1)
中学校	65.9(65.1)	75.2(73.3)	80.0(77.0)	75.3(74.4)	74.2(73.5)	77.3(75.3)	76.1(74.7)

全国学力・学習状況調査 国語Bの正答率 ( )大阪府平均 ※H24のみ府調査

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	65.2(65.5)	47.0(47.9)	51.6(52.6)	62.2(62.7)	54.8(55.4)	54.3(54.5)	52.4(52.2)
中学校	48.5(47.3)	64.8(63.0)	50.5(47.2)	68.2(64.8)	66.2(63.3)	72.5(69.1)	61.7(59.4)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Aの正答率 ( )大阪府平均 ※H24のみ府調査

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	63.0(63.6)	76.3(77.1)	78.6(77.3)	75.4(74.8)	79.1(76.9)	77.7(77.8)	62.6(63.4)
中学校	66.7(65.5)	61.0(61.7)	69.4(65.0)	66.5(64.3)	64.0(61.7)	66(63.7)	67.7(65.2)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Bの正答率 ( )大阪府平均 ※H24のみ府調査

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	41.4(42.9)	56.4(57.3)	57.2(56.3)	44.2(44.1)	46.0(45.8)	44.8(44.6)	51.3(50.6)
中学校	40.8(40.4)	38.9(38.8)	61.5(56.9)	42.2(41.4)	44.9(43.1)	47.6(46.3)	47.4(45.7)

全国学力・学習状況調査「質問紙調査」(抜粋) ( )大阪府平均 ※H24のみ府調査

「何事にも、失敗をおそれず挑戦する」

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	72.6(68.8)	77.8(72.8)	75.9(73.0)	80.7(74.5)	80.1(74.3)	83.0(75.8)	
中学校	59.3(57.5)	67.5(64.2)	69.7(65.4)	70.2(68.1)	74.6(69.0)	72.2(69.7)	

全国学力・学習状況調査「質問紙調査」(抜粋) ( )大阪府平均 ※H24のみ府調査

「人の役に立つ人間になりたい」

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	91.1(90.0)	93.3(92.7)	93.4(93.0)	94.4(92.6)	94.5(92.9)	92.7(91.9)	95.2(94.6)
中学校	88.6(87.9)	92.9(91.4)	93.5(92.4)	93.6(92.8)	93.9(91.4)	89.2(89.7)	95.2(93.2)

## 7. 小学校、中学校の不登校の状況

(千分率)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	2.8	4.2	6.6	8.1	7.1	7.7	10.6
中学校	34.8	37.6	37.8	43.7	44.1	43.5	52.4

## 8. スクールカウンセラーの相談件数(のべ人数)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校	683	684	851	787	859	765	856
中学校	5,303	4,598	2,897	2,118	2,519	2,293	2,490

## 9. 教育農園活用(栽培活動実施)状況

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小学校内	16	16	16	16	16	16	16
小学校外	10	9	10	10	9	7	10
中学校	8	8	8	8	8	8	8

## 10. 中学校給食 喫食率の推移

	喫食率(%)					開始時期	H30年度 実施日数 (日)	生徒数(人) (H30年5月1日)
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			
葛城中学校	59.3	59.7	60.8	60.3	62.6	H19年1月	151	201
明治池中学校	56.2	60.3	62.6	68.5	78.4	H22年1月	149	250
第三中学校	41.6	42.6	46.5	46.2	45.3	H22年1月	144	362
喜志中学校	51.4	53.8	57.4	55.4	55.2	H22年2月	151	361
第二中学校	26.6	28.2	31.6	34.4	34.1	H22年3月	142	376
藤陽中学校	35.2	36.6	41.7	48.3	55.9	H23年1月	142	293
第一中学校	23.9	27.5	32.2	31.3	28.6	H23年2月	144	368
金剛中学校	51.1	50.0	53.1	55.8	58.2	H23年2月	149	425
全 校	41.8	43.5	47.4	49.0	50.6	—	175	2,636

## 11. 小学校給食 実施状況

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
学校数	16	16	16	16	16
年間給食数	1,108,516	1,064,158	1,035,386	1,023,079	1,002,598
一日平均 給食数	5,991	5,721	5,596	5,509	5,479

12. すばるホール施設利用状況

(利用率=利用日数/利用可能日数)

項目	26年度			27年度			28年度			29年度			30年度		
	件数	利用率	利用者数												
ホール	145	49.1%	49,935	156	52.2%	51,904	151	53.4%	55,505	151	53.9%	54,438	153	53.0%	51,533
小ホール	367	93.5%	28,906	363	93.2%	25,397	367	93.6%	24,733	374	93.2%	23,804	369	93.2%	24,052
レプションホール	140	48.6%	41,017	135	45.9%	39,876	109	36.7%	42,916	133	47.7%	45,138	122	43.8%	41,870
会議室1	338	84.8%	5,272	298	72.2%	4,184	297	75.7%	4,221	290	80.3%	4,406	309	80.7%	4,363
会議室2	679	91.5%	10,145	678	89.1%	10,363	603	83.3%	9,469	563	85.8%	8,662	537	87.3%	7,943
会議室3	220	64.2%	8,254	204	58.0%	8,073	203	60.4%	8,016	225	64.4%	8,609	178	51.9%	6,985
リハーサル室	556	94.2%	30,937	564	96.2%	28,123	615	92.6%	28,586	624	94.8%	28,799	616	93.2%	27,868
展示室	149	48.8%	12,158	152	48.4%	16,773	136	44.7%	17,822	140	49.5%	18,385	143	49.0%	18,202
カルチャールーム	307	67.7%	5,747	342	68.6%	5,951	340	69.7%	5,301	330	78.7%	5,834	350	84.9%	5,476
音楽練習室	382	79.4%	5,300	405	81.4%	5,304	399	82.5%	6,314	308	71.7%	5,148	290	69.9%	4,222
合計	3,283	72.2%	197,671	3,297	70.5%	195,948	3,220	69.3%	202,883	3,138	72.0%	203,223	3,067	70.7%	192,514

13. きらめき創造館利用状況（平成29年9月オープン）

項目	29年度		30年度	
	件数	利用者数	件数	利用者数
スタディルーム1	166	1,401	301	1,423
スタディルーム2	111	326	142	557
グループ活動室A	77	1,300	81	1,334
グループ活動室B	39	451	30	306
グループ活動室A+B	220	4,637	501	8,567
グループ活動室C	119	591	240	886
ワーキングルーム	172	1,724	296	2,548
スタジオ	340	2,946	611	4,678
交流スペース	19	1,015	77	1,386
自習室	-	14,656	-	26,623
合計	1,263	29,047	2,279	48,308

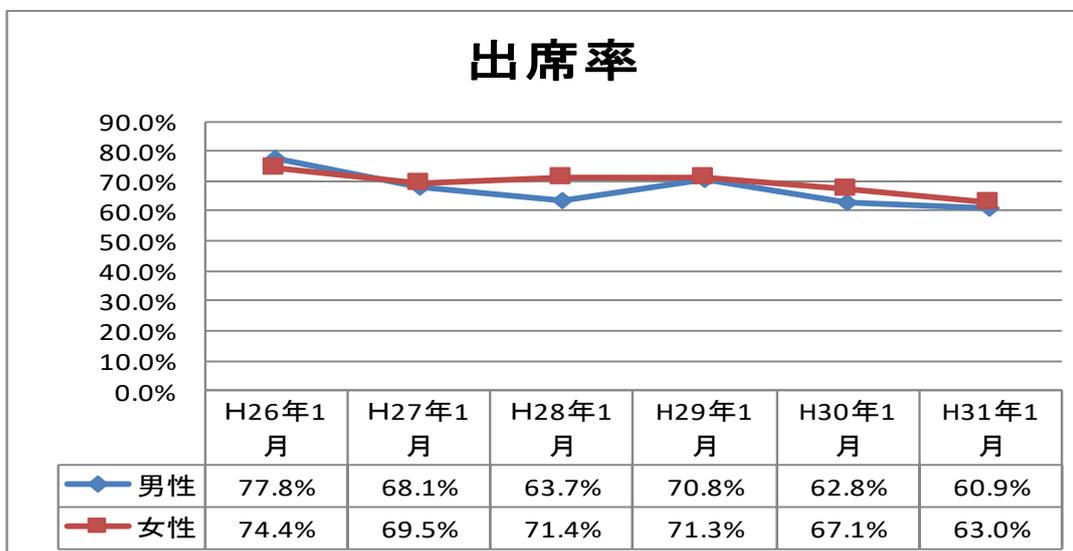
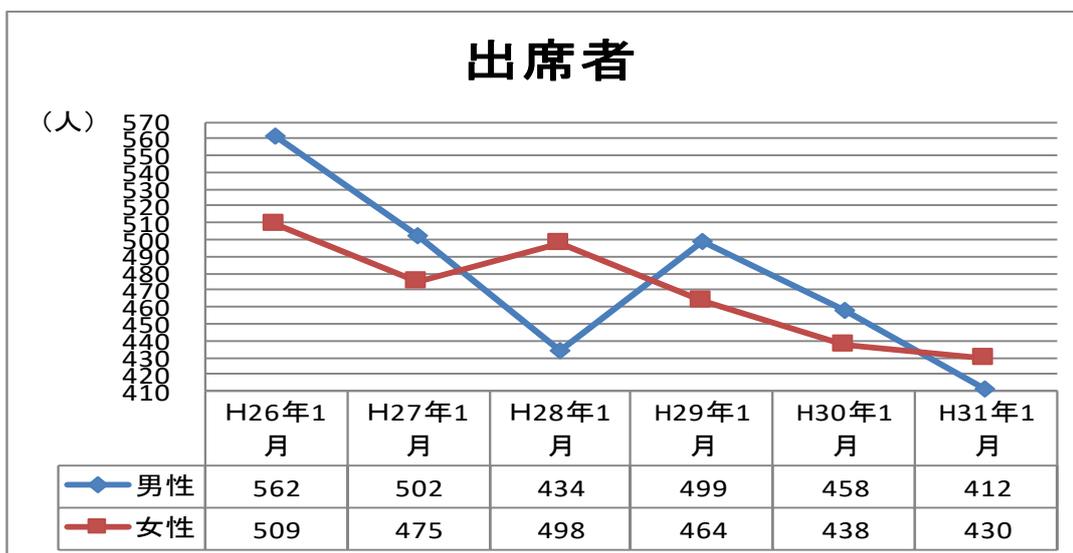
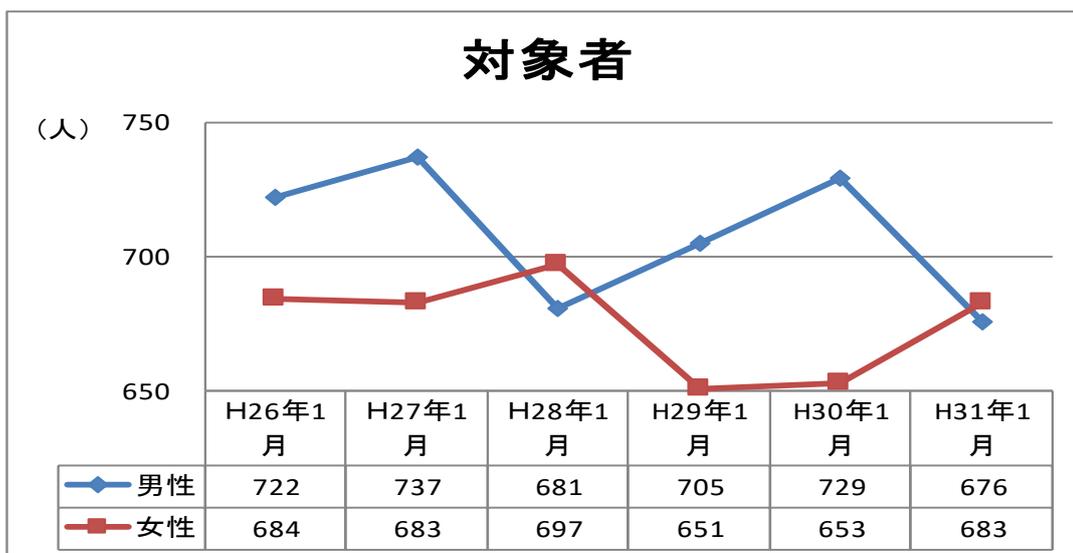
14. 放課後子ども教室 参加状況

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
富田林	回数	30	28	29	27	23	22
	参加児童数	675	652	607	677	629	594
	在籍児童数	334	321	310	316	323	306
新堂	回数	9	10	9	9	10	8
	参加児童数	233	299	222	258	206	213
	在籍児童数	520	508	457	449	412	388
喜志	回数	8	10	10	10	6	8
	参加児童数	346	317	369	351	282	207
	在籍児童数	502	482	457	449	439	421
大伴	回数	16	18	17	14	16	15
	参加児童数	666	540	516	495	624	620
	在籍児童数	516	491	465	449	449	434
彼方	回数	22	23	21	13	11	13
	参加児童数	561	504	684	479	435	528
	在籍児童数	316	285	258	256	236	211
錦郡	回数	16	16	16	15	15	17
	参加児童数	1,242	1,467	1,254	1,618	690	823
	在籍児童数	340	325	301	285	278	250
川西	回数	19	21	18	23	22	14
	参加児童数	1,114	1,136	860	906	748	380
	在籍児童数	471	431	398	368	342	318
東条	回数	28	30	30	29	30	30
	参加児童数	469	462	423	419	531	491
	在籍児童数	131	129	129	110	99	91
高辺台	回数	15	15	11	12	12	11
	参加児童数	536	513	356	571	507	366
	在籍児童数	182	176	166	162	158	161
久野喜台	回数	17	19	16	16	18	17
	参加児童数	689	797	639	820	859	764
	在籍児童数	312	326	297	305	312	309
寺池台	回数	22	25	23	23	21	18
	参加児童数	871	1,247	1,145	1,317	1,324	1,188
	在籍児童数	476	486	467	492	518	537
伏山台	回数	21	22	22	22	21	14
	参加児童数	1,044	1,123	717	729	597	412
	在籍児童数	281	299	312	308	300	288
喜志西	回数	18	16	17	21	24	25
	参加児童数	885	340	378	398	582	584
	在籍児童数	322	304	304	293	283	283
藤沢台	回数	30	34	41	28	28	31
	参加児童数	1,020	1,163	1,241	1,066	884	1,313
	在籍児童数	430	420	426	416	416	437
小金台	回数	19	21	26	28	21	14
	参加児童数	1,281	1,235	1,221	1,462	1,194	927
	在籍児童数	532	532	502	493	487	499
向陽台	回数	51	49	42	44	36	29
	参加児童数	1,183	1,298	1,114	1,158	926	892
	在籍児童数	234	234	214	221	241	263
合計	回数	341	357	348	334	314	286
	参加児童数	12,815	13,093	11,746	12,724	11,018	10,302
	在籍児童数	5,899	5,749	5,463	5,372	5,293	5,196

15. 出前講座 開催状況

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
回数	64	55	63	166	91	100	90

## 16. 成人式 参加状況

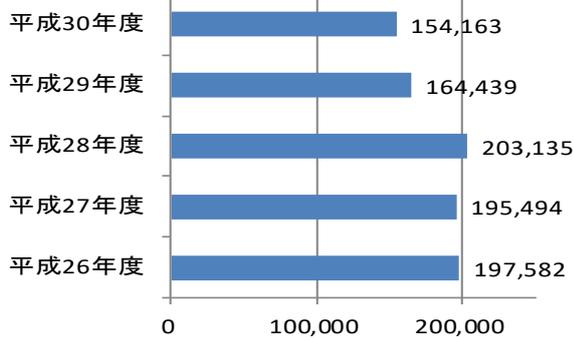


17. 市民文化祭 参加者状況(人)

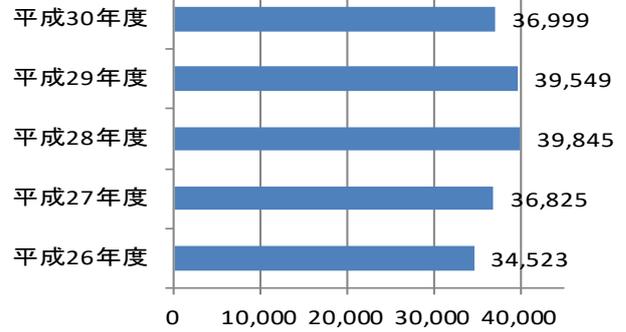
行 事 名	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
コーラスフェスティバル	500	500	530	500	500
市民美術工芸展	258	258	289	271	249
箏・三絃・尺八演奏会	113	132	104	102	105
民謡大会	78	67	50	57	69
謡曲大会	32	26	28	31	35
詩吟大会	105	144	139	157	113
ミュージック フェスティバル	143	101	114	132	145
茶華道大会	55	46	65	50	85
川柳大会	95	98	104	113	101
市民舞踏会	118	96	114	100	80
芸能フェスティバル	100	183	1,058	212	127
ダンスフェスティバル	263	270	186	105	182

18. スポーツ施設利用状況

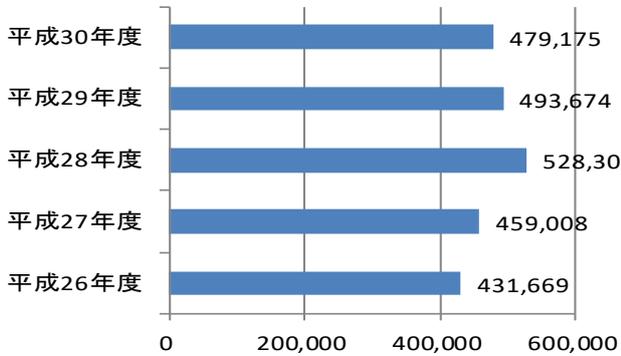
市民総合体育館  
利用人数



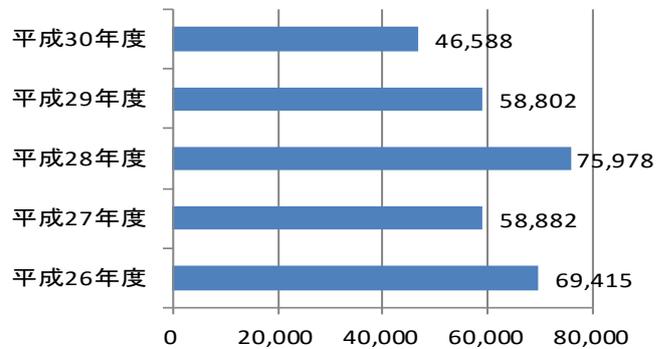
青少年スポーツホール  
利用人数



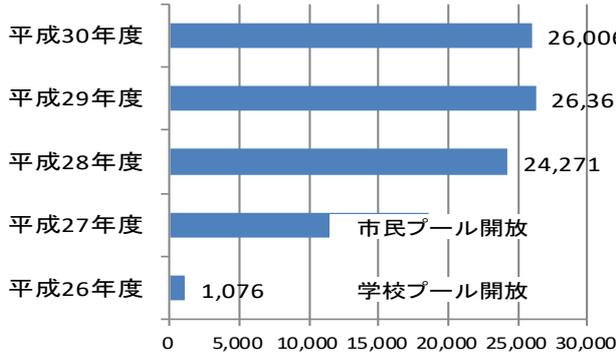
グラウンド 利用人数



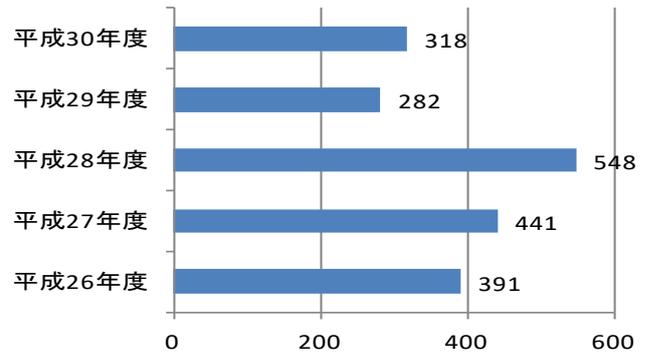
テニスコート 利用人数



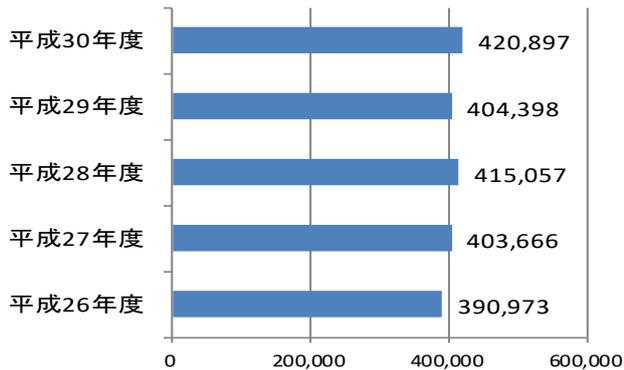
市営プール  
利用人数



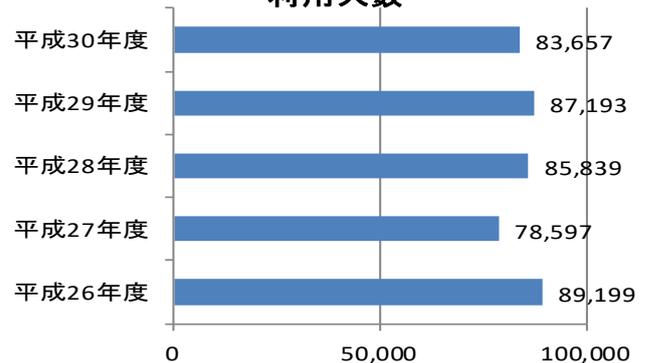
青少年教育キャンプ場  
利用人数



学校体育施設 利用人数

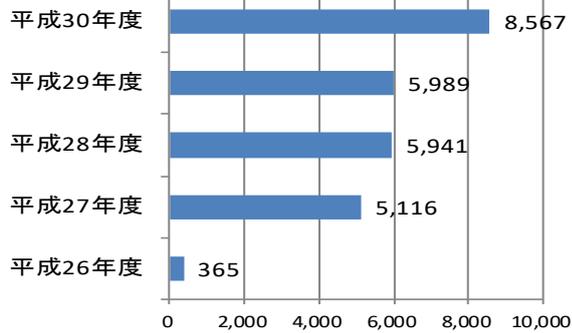


総合スポーツ公園  
利用人数



19. スポーツ事業参加状況

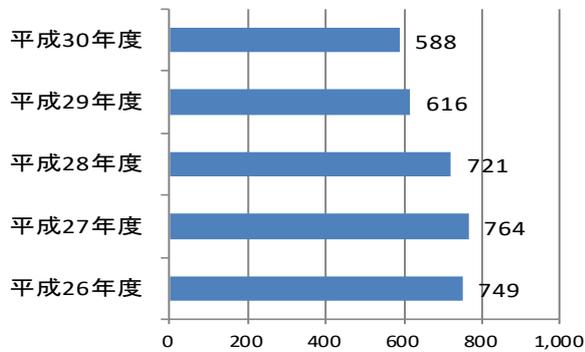
スポーツ教室  
参加者数



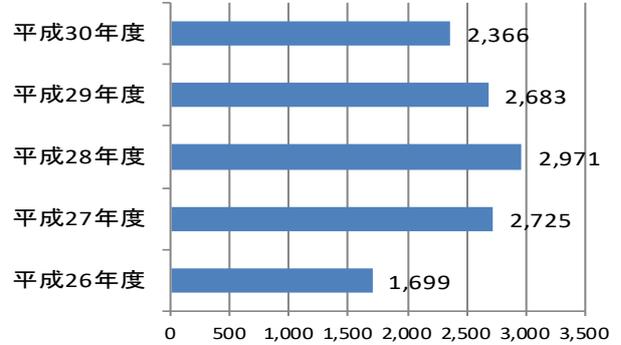
※注

スポーツ教室は、H26年度までは、前期(10回シリーズ)・後期(10回シリーズ)の実施で、申込者数の集計。  
H27年度途中からは、各教室が通年開催(毎週1回開催)となったため延べ参加者数の集計。

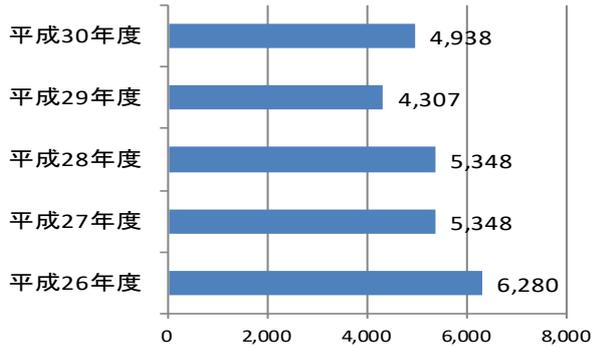
ジュニア・スポーツリーダー・  
スクール参加者数



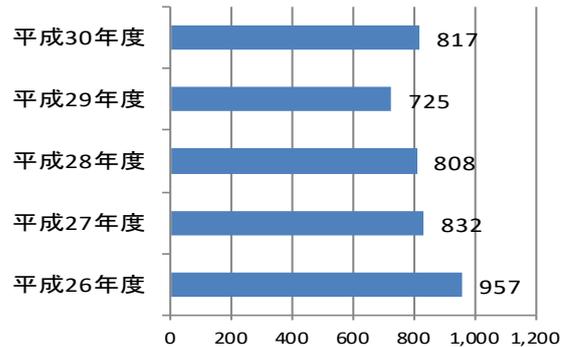
ドリームフェスティバル  
参加者数



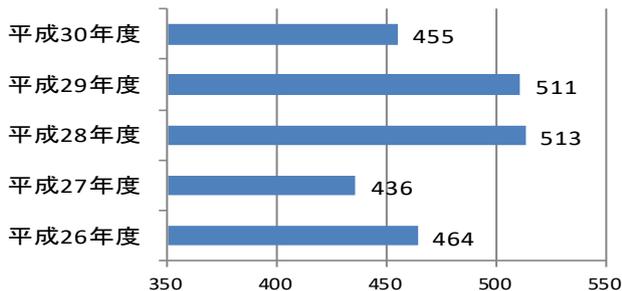
市民体育大会  
参加者数



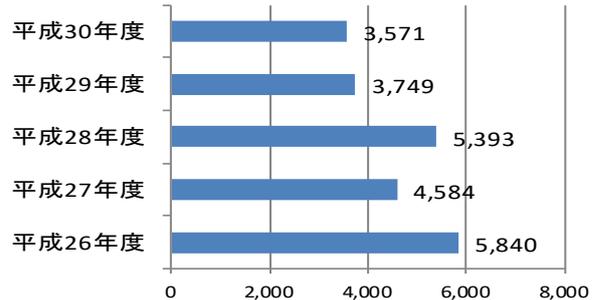
スポーツ・レクリエーション祭  
参加者数



市民マラソン大会  
参加者数



夏休みラジオ体操教室  
参加者数





## 21. 公民館利用状況等

	項 目	H26	H27	H28	H29	H30
中央公民館	1 主催講座延べ開催数	240	200	179	180	160
	2 主催講座学習者数(人)	3,653	2,544	2,491	3,166	3,213
	3 イベントその他の事業延べ開催数	17	19	15	18	19
	4 公民館クラブ数	48	48	47	46	45
	5 公民館クラブ員数	875	863	859	803	779
	6 年間施設利用件数	2,467	2,496	2,437	2,418	2,290
	7 年間施設利用者数	35,232	34,454	34,487	33,785	33,773
	8 施設年間平均稼働率(%)	43	44	43	42	40
東公民館	1 主催講座延べ開催数	71	87	51	77	66
	2 主催講座学習者数(人)	1,152	1,309	844	1,030	1,012
	3 イベントその他の事業延べ開催数	15	8	16	9	9
	4 公民館クラブ数	37	37	35	36	33
	5 公民館クラブ員数	521	522	479	471	446
	6 年間施設利用件数	1,621	1,585	1,529	1,534	1,539
	7 年間施設利用者数	22,918	23,578	23,903	22,944	22,182
	8 施設年間平均稼働率(%)	36	35	31	35	35
金剛公民館	1 主催講座延べ開催数	77	73	54	75	60
	2 主催講座学習者数(人)	1,680	1,229	1,235	1,106	1,035
	3 イベントその他の事業延べ開催数	18	14	33	14	14
	4 公民館クラブ数	56	56	57	58	57
	5 公民館クラブ員数	870	874	923	925	888
	6 年間施設利用件数	2,969	2,863	2,818	2,856	2,865
	7 年間施設利用者数	39,039	38,757	38,862	38,896	42,168
	8 施設年間平均稼働率(%)	48	49	46	48	48

(稼働率＝年間利用件数/年間利用可能区分)

※利用区分＝1日3区分、但し日曜日は2区分)

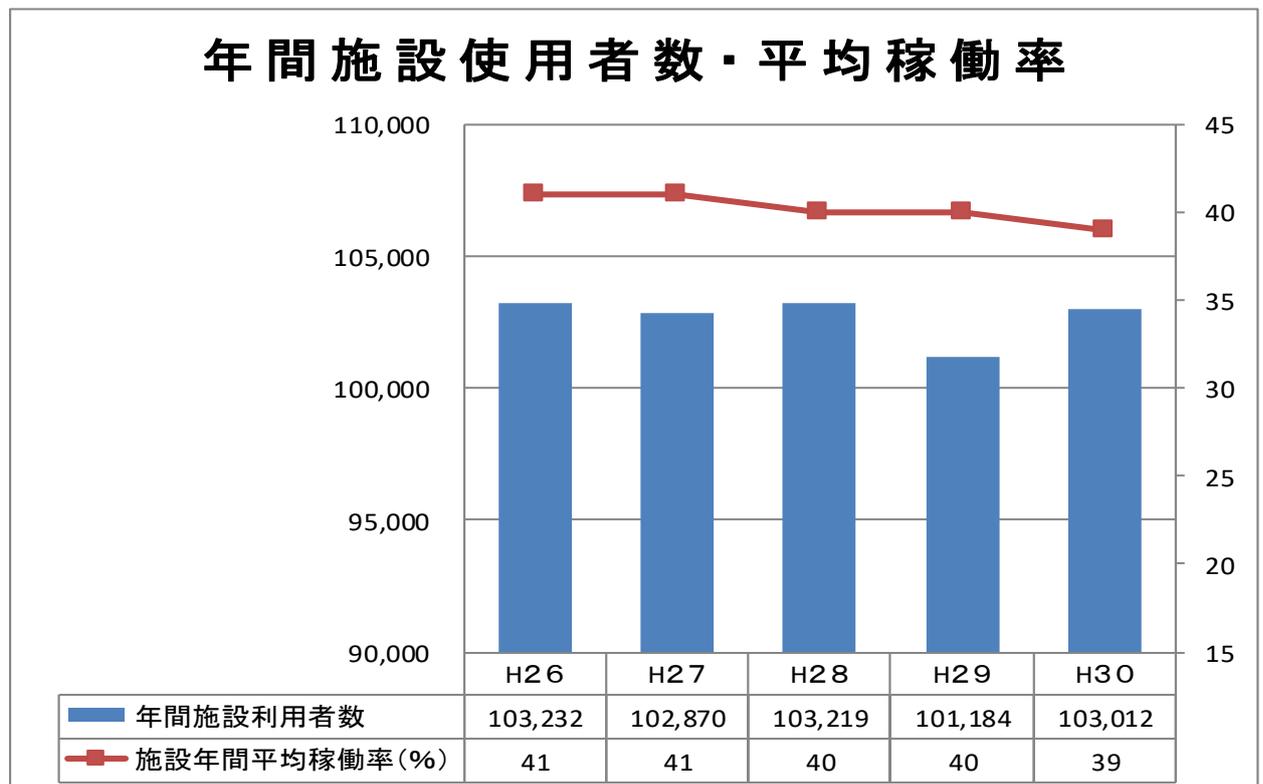
		項 目	H26	H27	H28	H29	H30
喜 志 分 館	1	年間施設利用件数	549	548	566	549	490
	2	年間施設利用者数	6,043	6,081	5,967	5,559	4,889
	3	施設年間平均稼働率 (%)	23	23	24	22	20
総 合 計	1	主催講座延べ開催数	388	360	284	332	286
	2	主催講座学習者数(人)	6,485	5,082	4,570	5,302	5,260
	3	イベントその他の事業延 べ開催数	50	41	64	41	42
	4	公民館クラブ数	141	141	139	140	135
	5	公民館クラブ員数	2,266	2,259	2,261	2,199	2,113
	6	年間施設利用件数	7,606	7,492	7,350	7,357	7,184
	7	年間施設利用者数	103,232	102,870	103,219	101,184	103,012
	8	施設年間平均稼働率 (%)	41	41	40	40	39

(稼働率＝年間利用件数/年間利用可能区分)

利用区分＝1日3区分、但し日曜日は2区分)

※東・金剛ホールは平日4区分

## 年間施設利用者数・平均稼働率



## 22. 図書館 利用状況

	総貸出人数	総貸出冊数	うち児童書貸出冊数	予約件数	録音図書等延貸出人数	ブックスタート配布絵本冊数
H26	219,750	771,845	200,075	103,224	46	735
H27	226,876	782,067	205,098	108,931	53	761
H28	224,499	756,303	195,449	110,582	79	729
H29	220,828	737,511	191,565	112,298	181	715
H30	219,200	725,956	189,862	110,682	337	638

